

## 平成25年 研究業績

その他のタイトル	Research and Social Work in 2013
雑誌名	社会安全学研究 = Safety science review
巻	4
ページ	111-161
発行年	2014-03-31
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10112/00018591">http://hdl.handle.net/10112/00018591</a>

# 研 究 業 績

## ■ 河 田 恵 昭

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書)				
国難候補の巨大地震と企業の事業継続計画	単著	2013年3月11日	同文館出版	リスク管理とディスクロージャー, P3-16
もう一つの安全神話の崩壊～地震時の新幹線の最悪の被災シナリオ～	共著	2013年3月25日	ミネルヴァ書房	事故防止のための社会安全学, P246-264
人間中心の防災対策に	単著	2013年5月7日	公明新聞	人間の復興へ2, P228-230
これから求められる防災とは	単著	2013年6月12日	岩波書店	これからどうする, P81-83
新時代の企業防災～3.11の教訓に学ぶ地震対策～	単著	2013年7月26日	中央労働災害防止協会	中災防新書, 038, P280
災害列島日本、日本で起こる自然災害、東海・東南海・南海地震、首都直下地震、4章台風、6章洪水、7章土砂災害	単著	2013年9月1日	NNN, 読賣新聞社, 関西大学社会安全学部	勇気をもって, P6,7,18-19,20-21,76-89,110-125,128-141
東日本大震災における市町村再編災害	単著	2013年9月30日	ミネルヴァ書房	市町村合併による防災力空洞化, P3-22
来るべき『国難』と国土の強靱化	単著	2013年10月31日	国土強靱化総合研究所	日本を強くしなやかに その3, P297-324
防災 (32項目)	単著	2013年5月7日	集英社クリエイティブ	デジタルイミダス2013
(学術論文)				
被災地の復旧・復興は今	単著	2013年1月1日	中央文化社	地方議会人, 1月号, P31-35
国難となる大震災と企業の役割	単著	2013年1月25日	経営倫理実践研究センター	経営倫理, No.69, P2-6
大災害への備えと都市防災	単著	2013年1月1日	全国市長会	市政1月号, Vol.62, P30-34
社会科において防災教育はどのように反映されているのか	単著	2013年1月31日	日本文教出版	社会科navi, Vol.3, P2-5
総論 東日本大震災から得たもの～地震による耐えうる企業をつくるには～	単著	2013年3月1日	中央労働災害防止協会	安全と健康, 第64巻, 第3号, P17-22
巻頭インタビュー 国難を乗り越えるために、被災想定に込めた想い	単著	2013年3月25日	新建新聞社	リスク対策.com, Vol.36, P4-6
情報発信者側として『新想定』のとりまとめで考慮したこと	単著	2013年3月	日本災害情報学会	災害情報No.11, P2-5 (査読有)
大災害多発・激化時代と災害ミュージアム	単著	2013年5月15日	公益財団法人 全国行政相談委員連合協議会	行政相談, No.137, P2-3
巻頭言 待ったなしの上下水道施設・管路の耐震化	単著	2013年5月15日	日本ダクタイル鉄管協会	ダクタイル鉄管, No.92, P4-5
東日本大震災と学術調査研究	単著	2013年5月20日	日本私立大学連盟	大学時報, No.350, P62-65
タクシーが災害に巻き込まれないために(1) 地震・津波	単著	2013年6月3日	交通界	週刊 交通界No.492, P24
タクシーが災害に巻き込まれないために(2) 集中豪雨・市街地のはん濫	単著	2013年7月1日	交通界	週刊 交通界No.496, P24
タクシーが災害に巻き込まれないために(3) 台風・高潮	単著	2013年7月28日	交通界	週刊 交通界No.500, P24
タクシーが災害に巻き込まれないために(4) 土砂災害	単著	2013年9月2日	交通界	週刊 交通界No.504, P24
迫りくる南海トラフ巨大地震	単著	2013年7月19日	日本アイ・ピー・エム株式会社	無限大, No.133, P28-34
巨大地震への取り組みが日本の未来を創る	単著	2013年10月1日	潮出版社	潮 (10月号), 通巻656号, P50-55
日常生活の安全と安心に配慮したデザインの大切さ	単著	2013年9月1日	日本文教出版	教育情報No.3, P2-3
南海トラフ巨大地震の被害拡大と減災課題	単著	2013年8月1日	全国知事会	都道府県展望 (8月号, 電子版), No.659, P10-15

社会安全学研究 第4号

南海トラフ巨大災害想定と対策	単著	2013年7月31日	消防科学総合センター	消防科学と情報, No.113, P30-34
今後想定される大規模地震・津波災害と今後の対応	単著	2013年8月25日	ぎょうせい	自治体法務研究, No.34, P13-18
巻頭言 国土をこれ以上、脆弱にしないために	単著	2013年9月1日	オフィス・スペース	土木施工, Vol.54, No9, P9
資料館 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター	単著	2013年9月30日	日本文教出版	生活&総合navi, Vol.66, P30-31
来るべき「国難」を迎え撃つ	単著	2013年9月25日	機動隊員等を励ます会	はげまし, No.459, 9月号, P3-4
想定外を想定した大規模地震・津波対策	単著	2013年12月31日	衆議院調査局	RESEARCH BUREAU 論究, 第10号, P5-18
縄文時代早期の大阪湾とその周辺陸域に対する津波解析	共著	2013年10月31日	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), Vol.69, No2, P1346-1350(査読有)
東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会の活動	単著	2013年10月1日	海洋政策研究財団	人と海洋の共生をめざして, 150人のオピニオンVI, P130-131
(その他, 論考・研究資料等)				
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会・国際集会発表)				
Earthquake and Tsunami Countermeasures in Japan (招待講演)	単独	2013年5月10日	Brookings	The Conference on Mitigating Natural Disasters, Promoting Development(米国・ワシントン)
New Japanese Disaster Management Policy	単独	2013年7月15日	Natural Hazards Center	38th Annual Natural Hazards Research and Applications Workshop(米国・ブルームフィールド)
Utilization of Disaster Lessons Learned by The 2011 Great East Japan Earthquake for Next Catastrophic Disasters (基調講演)	単独	2013年9月5日	Integrated Disaster Risk Management	第4回 Integrated Disaster Risk Management(イギリス・ニューキャッスル)
(招待講演)				
にげることは生きること	単独	2013年1月9日	宝塚NPOセンター	阪神・淡路大震災1.17追悼・防災啓発行事(宝塚市ソリオホール)
震災対策の実践	単独	2013年1月10日	毎日新聞	危機管理セミナー(毎日新聞オーバルホール)
自然災害をどこまで取り込んで判断・行動すべきか	単独	2013年1月11日	技術の創造研究会事務局	技術創造研究会2013年新春講演会(東京都千代田区旭硝子株式会社本社オフィス内会議室)
巨大広域災害への備え	単独	2013年1月17日	日本集団災害医学会	第18回日本集団災害医学会総会・学術集会(神戸国際会議場)
津波災害—減災社会を築く	単独	2013年1月18日	消防大学校	消防大学校上級幹部科第75期講義(東京都調布市総務省消防庁消防大学校)
南海トラフ大地震による被害予測と対策	単独	2013年1月19日	神戸市医師会	神戸市医師会講演会(神戸市医師会館)
巨大災害から家族を守るために「減災」の取り組みを考える	単独	2013年1月20日	セキスイハイム	北海道セキスイハイムセミナー(北海道岩見沢市セキスイハイム岩見沢工場)
減災の知恵の共有～南海トラフの巨大地震と津波～	単独	2013年1月21日	神戸市	平成24年度神戸市地域防災シンポジウム(神戸国際会議場)
「南海トラフ巨大地震と首都直下地震の被害と対策」	単独	2013年1月21日	特定非営利活動法人・家・街 安全支援機構	災害対策セミナー in 神戸
南海トラフ巨大地震について	単独	2013年1月25日	国土交通省近畿地方整備局	平成24年度近畿河川技術研修(近畿地方整備局第1別館)
防災体制について	単独	2013年1月26日	三重県四日市市役所	平成24年度四日市市防災大学(四日市市総合会館)
南海トラフ巨大地震に備えるために	単独	2013年1月27日	セキスイハイム	セキスイハイム近畿奈良工場減災セミナー(奈良県奈良市セキスイハイム近畿奈良工場)
南海トラフ巨大地震に対する防災対策について	単独	2013年1月29日	社団法人全国防災協会	平成24年度防災セミナー(東京都港区虎ノ門発明会館)

研 究 業 績

「南海トラフ巨大地震と津波被害と『強くてしなやかな (Resilient) 社会』」	単独	2013年 1月30日	静岡県立大学グローバル地域センター	シンポジウム「TSUNAMI」
災害から身を守るために～今、考えるべきこと～	単独	2013年 1月31日	北海道教育庁	北海道「全道防災教育研究フォーラム」(北海道札幌市中央区ホテルポールスター札幌)
トップとしての防災、危機管理対策について	単独	2013年 2月 1日	札幌市	防災危機管理セミナー (北海道札幌市道特会館)
ゆるぎない日本の再構築を目指して	単独	2013年 2月 1日	北海道開発局	北海道開発局防災セミナー (北海道開発局災害対策室)
「都市防災」・「津波災害」・高潮災害」	単独	2013年 2月 2日	防災士研修センター	防災士研修講座 (八尾商工会議所)
大災害時の支援と受援	単独	2013年 2月 4日	大垣ライオンズクラブ	防災に関する市民講座 (岐阜県大垣市サイトピアセンター文化会館文化ホール)
防災教育の展望と新しい副読本の活用	単独	2013年 2月 5日	兵庫県教育委員会	防災教育フォーラム (兵庫県立教育研修所)
危機管理における企業に求められる対応と課題	単独	2013年 2月 6日	日本経済団体連合会	防災に関する委員会・国民生活委員会合同委員会 (東京都千代田区大手町経団連会館)
南海トラフ巨大地震の特徴と地域課題	単独	2013年 2月 7日	国土交通省国土地理院	地震・津波防災セミナー (和歌山市民会館)
「想定外」の自然災害の減災対策	単独	2013年 2月 8日	「震災対策技術展」事務局	第17回「震災対策技術展」(パシフィコ横浜・アネックスホール)
災害看護学の確立のために	単独	2013年 2月 8日	日本赤十字看護大学	日本赤十字看護大学基調講演 (東京都渋谷区広尾日本赤十字看護大学)
「都市防災」・「津波災害」・高潮災害」	単独	2013年 2月 9日	防災士研修センター	防災士研修講座 (アルフィック大阪)
首都直下地震に備えて「減災」と地域づくり、住まいづくり	単独	2013年 2月10日	セキスイハイム	防災セミナー (新宿明治和田生命ホール)
南海トラフ巨大地震津波の特徴と減災対策	単独	2013年 2月12日	愛媛県	愛媛県防災啓発研修 (愛媛県庁)
東日本大震災後の津波災害への対処ーモデル化と減災ー	単独	2013年 2月13日	公益法人日本河川協会	平成24年度中国河川技術研修 (広島県広島市広島県合同庁舎)
～来るべく南海トラフ巨大地震に備えて技術系公務員が果たすべき役割～	単独	2013年 2月14日	京都市	京都市技術研修 (京都市御池創生館)
南海トラフ巨大地震と西宮の地震防災	単独	2013年 2月16日	地盤工学会	西宮市防災講演会 (兵庫医科大学平成記念会館講堂)
大阪発レジリエント社会を目指す	単独	2013年 2月16日	大阪ユニバーサルシティロータリークラブ	国際ロータリー第2660地区第5組'12'13インターシティミーティング (ANA クラウンプラザホテル大阪)
減災の取り組み	単独	2013年 2月17日	セキスイハイム	防災セミナー (名古屋ドーム)
我が国における今後の防災対策	単独	2013年 2月18日	関西大学校友会・大阪市内支部連合会	平成24年度関西大学校友会・大阪市内支部連合会総会 (ホテルニューオータニ大阪)
日本のグランド・デザインを考える～高槻市を素敵な街に～	単独	2013年 2月19日	高槻市商工会議所	創立65周年記念シンポジウム (たかつき京都ホテル)
国難をどう乗り越えるかー首都直下地震と南海トラフ巨大地震	単独	2013年 2月20日	こうべ市民福祉振興協会神戸市シルバーカレッジ事務局	シルバーカレッジ (神戸市北区しあわせの村)
大阪で被災しないための社会貢献	単独	2013年 2月21日	総務省近畿管区行政評価局	大阪行政相談委員協議会講演会 (大阪城スクエア)
国難となる大地震に関する最新情報	単独	2013年 2月22日	(株)インターリスク総研	国難が想定される地震の被害と企業のBCPセミナー (東京都千代田区損保会館)
想定外の災害を起こさないための哲学	単独	2013年 3月 8日	(株)建築研究所	建築研究所講演会 (東京都千代田区有楽町朝日ホール)
地域の防災リーダーに期待すること	単独	2013年 3月 9日	兵庫県広域防災センター	ひょうご防災リーダー講座 (兵庫県広域防災センター)
南海トラフ巨大地震と首都直下地震などの巨大災害の被害シナリオと災害に強い国土のグランドデザイン	単独	2013年 3月12日	国土交通省	「災害に強い国土のグランドデザイン」の策定に向けた勉強会 (東京都千代田区霞が関中央合同庁舎)
地震や津波・高潮・洪水氾濫 大阪の地下鉄は対応できるのか	単独	2013年 3月13日	交通権の確立・大阪市営交通を守り発展させる会	緊急学習 (大阪府北区天神橋大阪グリーン会館)

社会シミュレーションと想定外	単独	2013年3月15日	神戸大学	統合地震シミュレーション・シンポジウム(神戸大学統合研究拠点コンベンションホール)
自主防災組織と減災まちづくり	単独	2013年3月16日	堺市	堺市防災フォーラム(堺市民会館大ホール)
想定外災害にどのように立ち向かうのか	単独	2013年3月18日	(社)日本プロジェクト産業協会	防災委員会(東京都中央区日本橋鉄鋼会館)
巨大地震の備え	単独	2013年3月18日	日本建設業連合会	海洋開発技術講演会(東京丸の内銀行倶楽部ホール)
自助・共助のまちづくり	単独	2013年3月23日	秋田県八郎潟町	地域力・防災力向上事業「意識が変われば…行動が変わる」第5弾(秋田県八郎潟町役場)
南海トラフ巨大地震による被害と対策	単独	2013年3月25日	兵庫県電気協会	電気記念日記念講演会(兵庫県民会館けんみんホール)
もし巨大地震が起こるとすれば、神戸市民はどのように対処すればよいのか	単独	2013年3月25日	神戸シルバーカレッジ	神戸シルバーカレッジ同窓会(兵庫県神戸市しあわせの村内)
南海トラフ巨大地震の特徴と地域課題被害想定と Resilient 社会	単独	2013年3月26日	毎日新聞	毎日新聞危機管理セミナー(大阪市毎日オーバルホール)
我が国の防災・減災対策のこれからの考え方	単独	2013年3月29日	大阪ロータリークラブ	大阪ロータリークラブ卓話(リーガロイヤルホテル大阪)
災害対応に必要な日常連携とネットワーク	単独	2013年4月17日	香川大学・徳島大学	四国防災・危機管理特別プログラム記念講演会(香川大学)
「都市防災」「津波災害・高潮災害」	単独	2013年4月21日	防災士研修センター	防災士研修講座(大阪市浪速区アルフィック大阪)
今後備えるべき、企業の防災対策について～阪神大震災、東日本大震災からの教訓～	単独	2013年4月26日	日本監査役協会	日本監査役協会関西支部講演会(メルバルク大阪イベントホール)
南海トラフ巨大地震と関西の地震防災を考える～技術者の役割・責務とは?～	単独	2013年4月27日	日本技術士会近畿本部	平成25年度日本技術士会近畿本部防災特別講演(大阪科学技術センター)
NGO response to the earthquake and tsunami	単独	2013年5月10日	The Brookings Institution	Conference on Mitigating Disasters: The Sendai Dialogue and Disaster Risk Management in Asia (Washington D.C.)
「国難」となる大規模災害への備え	単独	2013年5月17日	NHK 大阪放送局	「かんさい放送と技術フォーラム2013」(大阪歴史博物館4階・講堂)
命を守る防災～今何をなすべきか～	単独	2013年5月17日	大阪府教育センター	「平成25年度防災教育研修」(大阪市住吉区菟田大阪府教育センター大ホール)
南海トラフ巨大地震について	単独	2013年5月23日	阪神水道企業団	管理職研修会(神戸市東灘区西岡本阪神水道企業団会議室)
奈良県で心配な自然災害と民生委員の貢献	単独	2013年5月24日	奈良市	第39回民生児童委員大会(なら100年会館大ホール)
「想定外」の災害対策の考え方	単独	2013年5月25日	土木学会中国支部	平成25年度土木学会中国支部研究発表会(鳥取大学)
南海トラフ巨大地震による大阪の被害	単独	2013年5月28日	千里ロータリークラブ	オープンクラブ(千里阪急ホテル)
地域防災と災害軽減システム 津波災害について	単独	2013年5月31日	近畿建設協会	平成25年度 JICA 研修(神戸市中央区 JICA 関西)
来る南海トラフ巨大地震という「国難」と対策	単独	2013年6月6日	兵庫医療大学	第一回学術講演会(神戸市中央区兵庫医療大学)
南海トラフ巨大地震に備えるために	単独	2013年6月7日	セキスイハイム中四国	減災セミナー(岡山氏北区岡山コンベンションセンター)
来るべき「国難」と国土の強靱化	単独	2013年6月13日	自由民主党政務調査会	国土強靱化総合調査会(自由民主党本部7階)
想定外災害にどのように立ち向かうのか	単独	2013年6月13日	日本プロジェクト産業協会	JAPIC 防災委員会(東京都中央区日本橋鉄鋼会館)
国難となる巨大災害～わが国の減災戦略	単独	2013年6月14日	土壌環境センター	年次講演会(京都大学吉田キャンパス時計台記念館)
奈良で発生が心配な地震災害	単独	2013年6月15日	奈良自治体研究所	防災シンポジウム(奈良県婦人会館3階大会議室)



研 究 業 績

予想される巨大地震と想定被害について	単独	2013年 6 月21日	奈良県住宅・建築物耐震化促進協議会事務局	平成25年度奈良県住宅・建築物耐震化促進協議会講演会（奈良県中小企業会館）
防災総論	単独	2013年 6 月22日	福岡市役所	平成25年度「博多あんあん塾」（福岡市よみうりプラザ）
来る南海トラフ巨大地震という「国難」と対策	単独	2013年 6 月28日	兵庫医科大学	危機管理に係る特別講義（西宮市兵庫医科大学）
南海トラフ巨大地震による津波災害対策	単独	2013年 6 月29日	世界平和海洋訓練教育協会	アジア太平洋津波災害支援会議（東京都千代田区海運ビル海運クラブ）
南海トラフ巨大地震で想定される医療と福祉分野の課題と対策	単独	2013年 7 月 4 日	協和発酵キリン	第11回枚方・寝屋川CKD研究会（関西医科大学付属枚方病院）
南海トラフ巨大地震の被害想定と防災・減災	単独	2013年 7 月 4 日	岸和田市議会事務局	議員研修会（岸和田市波切ホール）
南海トラフ巨大地震・津波想定と対策	単独	2013年 7 月 5 日	消防科学総合センター	東京都港区虎ノ門ニッショーホール
大規模災害に備え、企業に求められる対応と課題	単独	2013年 7 月12日	経済広報センター	事業説明会（梅田スカイビルスペース36R）
災害時における大学の地域とのかかわり方	単独	2013年 7 月19日	京滋地区私立大学学長懇談会事務局	京滋地区私立大学学長懇談会第261回例会講演（日航京都プリンセスホテル）
地震災害の今後	単独	2013年 7 月20日	失敗学会	失敗学会大阪夏の大会（大阪市大阪府会館）
これからの大地震に備える	単独	2013年 7 月25日	機動隊員等を励ます会	朝食講演会（東京都千代田区グランドアーク半蔵門）
被災シナリオに応じた効率的な応急復旧活動のあり方	単独	2013年 7 月25日	国土交通大学校	専門課程大規模地震・津波対策研修（東京都小平市国土交通大学校）
看護職に求められる災害看護の役割	単独	2013年 7 月27日	災害看護支援機構	第2回災害看護活動推進員認定育成コース（神戸市教育会館）
南海トラフ巨大地震について、児童・生徒が知っておかなければならない知識	単独	2013年 7 月28日	土木学会	第5回土木と学校教育フォーラム（東京都新宿区四谷土木学会）
わが国の地震防災対策の進め方	単独	2013年 7 月30日	飛鳥建設	創業130周年記念事業技術報告会・講演会（神奈川県溝口ホテル KSP）
南海トラフ巨大地震と首都直下型地震の被害と対策	単独	2013年 8 月 2 日	トクビ）人・家・街安全支援機構	既存住宅流通の活性化に向け～地震の活動期を見据えて～シンポジウム（東京都住宅金融支援機構本店1階すまい・るホール）
「国難」となる災害をどう対処するのか	単独	2013年 8 月 3 日	日本危機管理士機構	危機管理士試験2級（社会リスク）講演会（明治大学駿河台キャンパス内アカデミーコモン）
南海トラフ地震の被害想定と対策	単独	2013年 8 月 8 日	中部インダストリアル・エンジニアリング協会	華クラブ研究部会第3例会（名古屋市中区中部マーケティング協会伏見東会議室）
自治体の危機管理	単独	2013年 8 月 9 日	広島県自治総合研修センター	平成25年度防災研修（広島県自治総合研修センター6階）
南海トラフ巨大地震及び内陸地震に備えて	単独	2013年 8 月11日	三重大学	みえ防災コーディネーター育成講座（三重大学工学部大会議室）
これからの備える防災	単独	2013年 8 月18日	岐阜県瑞浪市	平成25年度防災講演（岐阜県瑞浪市総合文化センター）
わが国の防災・減災対策	単独	2013年 8 月27日	兵庫県阪神シニアカレッジ同窓会	平成25年度マイスター教室講座（兵庫県宝塚・ソリアホール）
わが国の防災・減災対策	単独	2013年 8 月28日	双葉警備保障株式会社	大阪21ドリー夢会（枚方市南中振三井倉庫ロジスティック株式会社）
国土建設のグランドデザイン～部分最適から全体調和へ～	単独	2013年 8 月30日	日本建築学会	2013年度東日本建築学会大会（北海道）総合研究協議会（北海道大学工学部オープンホール）
国難をどう迎えるのか		2013年 9 月 9 日	内外情勢調査会	内外情勢調査会講演会（東京品川グース29階「モニカ」）
国難をどう乗り越えるのか―首都直下地震と南海トラフ巨大地震―		2013年 9 月10日	神戸シルバーカレッジ	神戸シルバーカレッジ平成25年度講義（神戸市北区しあわせの村）
日本の自然災害		2013年 9 月10日	JICA	平成25年度 JICA 研修「総合防災行政B」（神戸市中央区）

「春日井市民にとって役に立つ危機管理を学ぶ」南海トラフ巨大地震と春日井市—無縁でない被害— 災害の恐ろしさ	2013年9月11日	春日井市	平成25年度春日井安全アカデミー（愛知県春日井市春日井市役所）
港区と最悪の被災シナリオ	2013年9月12日	神戸市	神戸市「こうべまちづくり学校」分野別講座（神戸市中央区こうべまちづくり会館）
国難をどう乗り越えるのか	2013年9月14日	港区震災対策協議会	第2回港区震災対策フォーラム（大阪府大阪市港区海岸通1丁目 間口本社ビル）
東日本大震災の教訓と首都直下地震の対応	2013年9月17日	株式会社バスコ	バスコ大学（大阪市浪速区マルイト難波ビル）
南海トラフ巨大地震の被害想定と対策	2013年9月19日	建設コンサルタンツ協会・インフラストラクチャ協会	建設コンサルタンツ協会常務研究発表会（東京グラウンドアーク半蔵門）
首都直下地震に向けての減災の試み	2013年9月19日	JASTJ	日本科学技術ジャーナリスト会議理事会（東京スター貸会議室四谷）
「国難」時代の新しい企業防災	2013年9月19日	日本プロジェクト産業協議会	防災委員会（東京都中央区日本橋鉄鋼会館）
南海トラフ巨大地震と津波、防災	2013年9月20日	三菱東京UFJ銀行	今和会講演（大阪リーガロイヤルホテル）
南海トラフ巨大地震や首都直下地震を「国難」としないための試み	2013年9月21日	大阪から公害をなくす会	第18回環境学校（大阪府中央区大阪民医連）
南海トラフ巨大地震対策～防災・減災対策～（自助の強化）	2013年9月27日	中国電力	防災講演会（広島市中区中国電力ビル）
やがて来る南海トラフ大地震～大東は減災をどう築くべきか！～	2013年9月28日	兵庫県広域防災センター	平成25年度ひょうご防災リーダー講座（兵庫県三木市兵庫県広域防災センター）
南海トラフ沿いの地震と企業防災	2013年10月3日	大東商工会議所	大東市商工会議所建設部会減災講演会（大阪府大東市立市民会館）
危機管理体制の強化と課題	2013年10月4日	日本ERI株式会社	感謝の集い講演会（神戸市中央区ラッセホール）
最新の地震津波防災について	2013年10月18日	兵庫県、(財)消防科学総合センター	平成25年度兵庫県市町長防災危機管理ラボ（神戸市中央区山手通 公益財団法人兵庫県看護協会2階ハーモニーホール）
「中央防災会議・南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ」の最終報告と政府対応について	2013年10月19日	日本防災士機構	防災士誕生10周年記念行事（宮城県東北福祉大学けやきホール）
濱口梧陵の意志を風化させない減災対策	2013年10月25日	日本生活協同組合連合会関西地連	2013年度関西地連 大規模災害対策協議会「公開企画」（大阪府吹田市新大阪江坂東急イン）
東日本大震災の教訓と南海トラフ巨大地震に備えて	2013年10月26日	和歌山県	濱口梧陵シンポジウム（東京都千代田区明治大学駿河台キャンパス）
これからの防災・減災対策	2013年10月30日	全国環境衛生・廃棄物関係課長会	平成25年度全国環境衛生・廃棄物関係課長会プログラム講演会（香川県高松市高松シンボルタワー内 かがわ国際会議場）
南海トラフ巨大地震の被害と対策について	2013年10月31日	中央労働災害防止協会	緑十字展2013（大阪市住之江区インテック大阪5号館）
南海トラフ巨大地震対策に向けて、何が変わったか？	2013年11月1日	大阪府町村議長会	平成25年度正副議長等研修会（大阪府中央区おおさか市町村職員研修研究センター内5階大ホール）
南海トラフ巨大地震時の守口市・門真市の被害と対応	2013年11月7日	CDR	第7回大規模災害セミナー（大阪市北区区民センター）
南海トラフ巨大地震と住民の心構え	2013年11月8日	守口門真防火協会	守口門真防火協会設立60周年記念講演会（門真市殿島町 守口門真消防組合消防本部）
減災社会を築く～事前復興による広域巨大災害への備え～	2013年11月10日	岡山県玉野市	平成25年度たまの地域人づくり大学知って得するコース（岡山県玉野市立中央公民館 総合文化センター）
首都直下地震の被害想定	2013年11月14日	自治体災害対策全国会議実行委員会	平成25年度自治体災害対策全国会議（兵庫県ポートピアホテル）
	2013年11月15日	国土交通省	国土交通省南海トラフ巨大地震・首都直下地震対策本部対策計画検討ワーキンググループ第6回（東京都千代田区霞ヶ関合同庁舎3号館4階幹部会議室）

研究業績

減災に向けていまからでも出来ること	2013年11月17日	防災ネットとういん	防災フォーラム in とういん (三重県東員町保健福祉センター 1 階ホール)	
都市巨大災害	2013年11月20日	内閣府	平成25年度防災スペシャリスト養成研修中堅コース (東京都江東区有明東京臨海広域防災公園内 有明の丘基幹的広域防災拠点施設)	
次の大災害を国難としないために	2013年11月20日	朝日新聞社・(公益)ひょうご震災記念21世紀研究機構	21世紀文明シンポジウム(東京都千代田区有楽町マリオン11階有楽町朝日ホール)	
大地震・津波と防災～阪神大震災と3.11から学ぶ～	2013年11月21日	西淀川防火協会・西淀川自衛消防協議会等	防災講演会 (大阪市西淀川区民会館エルム西淀川)	
南海トラフ巨大地震が起これば、エネルギー関連でどのような問題が発生するのか	2013年11月22日	化学工学会中国四国支部・中国地区化学工学懇話会	中国地区化学懇話会セミナー (広島県大竹市三菱レイヨン株式会社大竹事業所内講堂)	
巨大地震への備えと土木技術	2013年11月23日	国土交通省近畿技術事務所	最新技術を知る～ふれあい土木展～ (大阪府枚方市国土交通省近畿地方整備局近畿技術事務所)	
淡路島のこれからの災害～地震・津波・洪水・土砂災害～	2013年11月28日	淡路政経懇話会	淡路政経懇話会講演 (兵庫県洲本市淡路島弁財天厳島神社会館)	
都市巨大災害	2013年11月29日	内閣府	平成25年度防災スペシャリスト養成研修総合コース (東京都江東区有明東京臨海広域防災公園内 有明の丘基幹的広域防災拠点施設)	
南海トラフ巨大地震にテレビ局はどう備えるのか?	2013年12月3日	讀賣テレビ放送株式会社	防災ウィーク講演 (大阪市 讀賣テレビ 1 階ホール)	
小・中学校における防災教育の主流化と必要な視点	2013年12月6日	東北大学災害科学国際研究所	「生きる力」市民運動化プロジェクトシンポジウム in 関西 (関西大学高槻ミューズキャンパス西館 ミューズホール)	
災害発生のしくみを学び危機管理の手法を身につける	2013年12月7日	奈良県	平成25年度奈良県自主防犯・防災リーダー研修 (奈良県北葛城郡王寺町やわらぎ会館)	
防災体制について学ぶ	2013年12月8日	三重県四日市市	平成25年度第9回四日市市防災大学 (三重県四日市市諏訪町)	
自然災害の脅威を克服する防災・減災の備え	2013年12月13日	佐賀大学	第7回異分野融合地域防災研究シンポジウム (佐賀県佐賀市本庄町佐賀大学本庄キャンパス理工学部 6 号館)	
何故、防災教育が必要なのか?	2013年12月19日	宝塚西高校	防災講演 (兵庫県宝塚市ゆずり葉台兵庫県立宝塚西高等学校)	
都市防災、被害想定とハザードマップ	2013年12月27日	高知市教育委員会	高知市立学校教員防災士養成研修 (高知県高知市アスパルこうち)	
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
科学研究費基盤研究 (S)	代表	2012～2016	23,900 (126,500)	「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策
科学研究費挑戦的萌芽研究	代表	2011～2013	1,300 (3,770)	津波考古学の創成
科学研究費基盤研究 (B)	分担	2013～2015	6,000 (13,600)	災害時の広域連携支援の役割の考察
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本災害情報学会 (前会長) 理事				
日本自然災害学会 (元会長) 理事, 評議員				
土木学会フェロー				
日本学術会議連携委員				
アメリカ土木学会 (ASCE) 会員, アメリカ地球物理学連合 (AGU), 国際水理学会 (IAHR) 会員				



(社会貢献活動)

NPO 法人 大規模災害対策研究機構, 理事長, 継続  
 NPO 法人 環境防災総合政策研究機構, 理事長, 継続  
 NPO 法人 人・家・街 安全支援機構, 理事長, 継続  
 土木学会, 調査研究部門/原子力土木委員会/J 232津波評価部会 (f II) 委員, 継続  
 土木学会, 調査研究部門/構造工学委員会/鉄道工学連絡小委員会/委員  
 土木学会, 企画部門/論説委員会委員, 継続  
 土木学会, 調査研究部門/海岸工学委員会相談役  
 内閣府, 中央防災会議専門委員, 継続  
 内閣府, 中央防災会議防災対策実行会議委員  
 内閣府, 情報セキュリティ政策会議技術戦略専門委員会委員  
 内閣府, 産学官連携功労者表彰選考委員  
 文部科学省, 地震調査研究推進本部政策委員会委員  
 国土交通省, 南海トラフ巨大地震対策計画 近畿地方地域対策計画策定連絡会アドバイザー  
 国土交通省, 大規模地震・津波対策アドバイザー会議委員  
 国土交通省, 地域防災力のための社会資本の多面的活用手法の検討業務に係る有識者委員  
 高知県, 高知県南海トラフ地震における応急対策のあり方に関する懇談会委員長  
 高知県, 石油基地等地震・津波対策検討準備会委員長  
 三重県, 三重県防災会議防災・減災対策検討会議委員長  
 三重県, 三重県政策アドバイザー  
 和歌山県, 和歌山県津波から逃げ切る支援専門家会議委員長  
 和歌山県, 和歌山県地震・津波被害想定検討委員会委員長  
 新潟県, 防災立県戦略, 顧問, 継続  
 新潟県, 震災復興推進アドバイザー  
 新潟県, 新潟県中越大地震復興検証調査会顧問  
 岡山県, 岡山県地震・津波対策専門委員会委員長  
 岡山県, 岡山沿岸海岸保全基本計画 (改訂) 検討委員会委員  
 兵庫県, 阪神・淡路大震災記念, 人と防災未来センター長, 継続  
 兵庫県, ひょうご安全の日推進委員会, 委員, 企画委員長, 継続  
 兵庫県, 兵庫県防災会議地震対策計画専門委員会, 副委員長, 継続  
 大阪府, 大阪府防災会議委員, 南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会部会長  
 大阪市, 大阪港地震・津波対策連絡会議, アドバイザー, 継続  
 堺市, 堺市防災会議委員  
 奈良県, 奈良県地域防災計画検討委員会委員長  
 鳥取県, 鳥取県政アドバイザースタッフ, 継続  
 東北大学, 災害科学国際研究所外部評価委員会委員  
 兵庫県立大学, 特任教授, 継続  
 関西広域連合, 関西広域防災計画策定委員会「地震・津波及び風水害対策専門部会」委員長  
 全国知事会地方自治先進政策センター, 頭脳センター専門委員  
 ㈱海洋研究開発機構機関評価会委員  
 ㈱日本学術振興会平成25年度博士課程教育リーディングプログラム委員会専門委員  
 財団法人防災研究協会, 非常勤研究員, 継続  
 財団法人防災研究協会, 業務運営委員, 継続  
 財団法人交流協会, 共同研究事業外部審査委員, 継続  
 財団法人新潟県中越大地震復興基金, 地域復興支援事業 (地域貢献型中越復興研究支援) 選考評価委員, 継続  
 財団法人沿岸技術研究センター, 近畿地方の港湾における地震・津波対策検討会議委員  
 ㈱日本プロジェクト産業協議会, 日本創成委員会/特別委員会 (緊急タスクフォース), 副委員長, 継続  
 (公益) 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団選考委員  
 (公益) ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究調査本部研究会委員  
 ㈱三菱総合研究所, 平成25年度戦略的国際標準化加速事業 ISO/TC223/SG 2 委員

(その他業績として記載を希望する事項)

日本建築協会 第13回読者と選ぶ「建築と社会」賞 (論考部門) 受賞  
 日本防災士機構 防災士の資質向上への寄与 10周年感謝状授与

研究業績

■ 小澤 守

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 事故防止のための社会安全学 巻頭言および第6章原発事故と技術者の社会的責任	分担執筆	2013年3月	ミネルヴァ書房	pp.99-119
エネルギー変換論入門 第1章 通論, 第2章 火力発電, 第5章 ガスタービンと複合発電	分担執筆	2013年5月	コロナ社	pp.6-48, pp.123-130, 146-152
気液二相流設計計算ハンドブック	共著	2013年7月	テクノシステム	網健行, 全413
東日本大震災合同調査報告書機械編 第7章 エネルギーインフラの諸問題, 7.2 原子力施設の被害を分担	分担執筆	2013年3月	東日本大震災合同調査報告書編集委員会	pp.263-309
(学術論文) 傾斜管内における連続スラグ気泡列中の後 続気泡速度特性	共著	2013年9月	日本混相流学会	混相流, Vol.27, No.3, pp.306-315, 中村典子, 広瀬由宗, 網健行, 梅川尚嗣, 査読有
(その他, 論考・研究資料等) ボイラー技術の史的展開 (1. 蒸気動力技術 の幕開け)		2013年2月	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.377, pp.34-40
組織事故低減のための安全システムデザイン		2013年3月	関西大学先端科学技術推進機構	技苑 (プロジェクト研究報告書概要集), No.136, pp.75-82
ボイラー技術の史的展開 (2. 産業革命期 における蒸気動力技術-その1)		2013年4月	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.378, pp.40-46
現代社会における動力技術のあり方		2013年4月	日本伝熱学会	伝熱, Vol.52, No.219, pp.51-60
ボイラー技術の史的展開 (2. 産業革命期 における蒸気動力技術-その2)		2013年6月	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.379, pp.35-41
相変化伝熱流動の技術的諸課題を考える		2013年7月		機能材料, Vol.33, No.7, pp.20-28
書評「原子力発電システムのリスク評価と 安全解析」		2013年9月	日本混相流学会	混相流, Vol.27, No.3, 350-351
ボイラー技術の史的展開 (3. 原始ボイラ ーから丸ボイラーへの技術展開-その1)		2013年10月	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.381, pp.36-42
ボイラー技術の史的展開 (3. 原始ボイラ ーから丸ボイラーへの技術展開-その2)		2013年12月	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.382, pp.34-42
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) Flow Characteristics of Oil-Water Mixture in Mini-Channel		2013年9月		9th UK-Japan Seminar on Multi-Phase Flow, Brunel University, London
CHF in a Slightly Inclined Tube with Circumferentially Non-Uniform Heat Flux		2013年9月		9th UK-Japan Seminar on Multi-Phase Flow, Brunel University, London
(招待講演) 福島第一原発事故と技術者の社会的責任 戦後動力技術の展開と技術者教育 第12回 エネルギー問題の展望		2013年2月 2013年4月 2013年7月	日本機械学会	関西支部第5専門部会 名古屋ETの会報告 関西大学社会安全学部連続セミナー 福島原発事故を検証する
東日本大震災後のエネルギー事情と企業の 対応		2013年7月	BERC	関西部会
原子力技術のあり方を考える		2013年8月		第8回先進原子力技術に関する連携重点 研究討論会および原子力機構施設利用一 般共同研究, 原子力専攻施設共同利用成 果報告会ならびに中性子散乱研究海外支 援事業成果報告会
エネルギー技術の展開と今後の伝熱研究の あり方を考える		2013年9月	日本伝熱学会関西支部	第13回関西伝熱セミナー in 六甲「先の先の 伝熱」

社会安全学研究 第4号

蒸気動力における技術開発		2013年10月	日本機械学会	関西支部第14回秋季技術フォーラム 気液二相流懇話会「気液二相流の現象理解から産業利用まで」
事故・災害の確率分布 TMI-2, 1-Fukushima からみた原子力安全のあり方		2013年10月 2013年12月	BERC	BERC 関西支部 日立技術士会・返仁会 合同シンポジウム
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本機械学会, 日本原子力学会, 日本伝熱学会, 日本混相流学会 日本工学アカデミー, 火力原子力発電技術協会 American Society of Mechanical Engineers				
(社会貢献活動) 独立行政法人日本原子力研究開発機構, もんじゅ保守管理改善検討委員会 委員長				
(その他業績として記載を希望する事項)				

研 究 業 績

■ 安 部 誠 治

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 福島原発事故はなぜ起こったか	共著	2013年4月	講談社	畑村洋太郎・安部誠治・淵上正朗：第1章(10-34頁)、第3章(84-110頁)、第4章(112-135頁)担当。
(学術論文) 事故調査制度—運輸事故調査を中心に—	単著	2013年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編『事故防止のための社会安全学』第11章、201-224頁。
タクシー産業における労働と規制	単著	2013年5月	国際交通安全学会	『ITASS Review』Vol.38, No.1, 33-40頁(査読有)。
貸切バスの事故防止の課題	単著	2013年5月	運輸調査局	『運輸と経済』第791号、23-30頁。
(その他、論考・研究資料等) 夏の参議院選後では遅い 急がれるタクシー新法制定	単著	2013年1月	トラボルト	『traport』第239号、インタビュー、4頁。
年齢制限は引き続き検討すべき	単著	2013年2月	トラボルト	『traport』第242号、8頁。
交通の発達と現代社会	単著	2013年2月	トラボルト	『traport』第243号、マンスリーエッセイ第1回、8頁。
組織事故と事故調査	単著	2013年2月	製品評価技術基盤機構	『生活安全ジャーナル』第14号、46-49頁。
クエルナバカ追想	単著	2013年3月	トラボルト	『traport』第245号、マンスリーエッセイ第2回、8頁。
特集 東日本大震災2年 東北復興	単著	2013年3月	東京交通新聞社	『東京交通新聞』鼎談：長谷川伸一、佐々木昌二氏と。
小笠原村の今①	単著	2013年4月	トラボルト	『traport』第251号、マンスリーエッセイ第3回、8頁。
小笠原村の今②	単著	2013年5月	トラボルト	『traport』第254号、マンスリーエッセイ第4回、8頁。
運輸安全委員会の5周年に寄せて	単著	2013年7月	運輸安全委員会	『運輸安全委員会年報 2013』
総幸福量の最大化	単著	2013年7月	トラボルト	『traport』第259号、マンスリーエッセイ第5回、8頁
新しい原子力安全基準の施行にあたって	単著	2013年7月	トラボルト	『traport』第262号、マンスリーエッセイ第6回、8頁
金沢駅と公共交通	単著	2013年9月	トラボルト	『traport』第266号、マンスリーエッセイ第7回、8頁。
ミシュランのガイドブック	単著	2013年9月	トラボルト	『traport』第269号、マンスリーエッセイ第8回、8頁
事故防止は鉄道会社の責任だ	単著	2013年10月17日	毎日新聞社	『毎日新聞』東京本社版
ミシュラン・ガイドブックに見る関西	単著	2013年10月	トラボルト	『traport』第272号、マンスリーエッセイ第9回、12頁。
A Message on the Fifth Anniversary of the JTSCB.	単著	Nov., 2013	運輸安全委員会	Japan Transport Safety Board Annual Report 2013
外部人材登用し労使関係改善を	単著	2013年11月23日	朝日新聞社	『朝日新聞』北海道支社版
改正特措法の成立に際して	単著	2013年12月	トラボルト	『traport』第278号、マンスリーエッセイ第10回、8頁。
辞典項目執筆「交通権」「イリッチ」「シューマッハー」	単著	2013年12月	有斐閣	『経済学辞典』第5版
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会招聘講演) 福島原発事故を検証する		2013年7月13日	政策情報学会	政策情報学会フォーラム、於・立命館大学東京キャンパス。
(講演) 福島原発事故は何故起こったのか～制度、規制、ガバナンスの視点からの検証～		2013年3月24日	危険学プロジェクトバージョンⅡ	2012年度末報告会、東京・アカデミーヒルズ。

社会安全学研究 第4号

福島原発事故を検証する		2013年4月6日	北海道大学工学部科学系東京同窓会「北鐘」	北鐘総会、於・大手町ファーストスクエアカンファレンス、
開講にあたって/政府事故調の活動		2013年4月19日	関西大学社会安全学部	連続セミナー「福島原発事故を検証する」第1回、於・関西大学東京センター、
JR福知山線事故が投げかけたもの-運輸の安全向上への課題-		2013年4月25日	4.25ネットワーク	於・あましんアルカイックホール
政府規制のどこに問題があったのか		2013年6月7日	関西大学社会安全学部	連続セミナー「福島原発事故を検証する」第7回、於・関西大学東京センター、
東京電力と安全文化		2013年6月14日	関西大学社会安全学部	連続セミナー「福島原発事故を検証する」第8回、於・関西大学東京センター、
福島原発事故は何故起こったか		2013年9月20日	日本心理学会	公募シンポジウム、於・札幌コンベンションセンター、
福島原発事故を検証する		2013年10月18日	関西電力原子力研修センター	原子力部門マネジメント研修、於・関西電力原子力研修センター、
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下、フリー記入				
(所属学会) 公益事業学会(理事)、日本交通学会、交通権学会(理事)、日本リスクマネジメント学会、鉄道史学会				
(社会貢献活動) 運輸安全委員会業務改善有識者会議座長(継続) 消費者安全調査委員会臨時委員(継続) 大阪府公立大学法人大阪府立大学評価委員会委員長(継続) 河内長野市国民保護協議会委員(継続) 近畿運輸局 大阪市域交通圏タクシー特定地域協議会委員(継続) 近畿運輸局 京都市域交通圏タクシー特定地域協議会委員(継続) 東北運輸局 仙台市タクシー事業適正化・活性化協議会座長(継続) 大阪タクシーセンター評議員(継続) 原子力安全推進協会・原子力防災訓練検討委員会委員(新規) 関西電力原子力安全検証委員会委員(新規) 国土交通省・運輸安全政策研究会委員(新規)				
(その他) 東京都小笠原村総務課からの次期総合計画に関わる意見聴取「移動に関する権利という観点から航空路のない小笠原村の位置づけ」について、於・小笠原村東京連絡事務所、2013年3月1日。				



研 究 業 績

■ 辛 島 恵美子

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 現代日本社会と安全の意味 (1章)	分担執筆	2013年2月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編『事故防止のための社会安全学』pp3-24
(学術論文) 安全学からみる薬害と安全の関係…何を 得て、何を失うのか…	単著	2013年	社会医学会	社会医学研究第30巻第2号 pp39-54
安全問題における翻訳と異文化理解の役割	単著	2013年	科学技術社会論学会	第12回年次研究大会講演集2013、pp156-157
(その他、論考・研究資料等) 心がつくる体内万能薬と気の効用	単著	2013年11月	関西大学	関西大学高槻ミューズキャンパス公開講座総合テーマ「気をコントロールする」
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 安全問題における翻訳と異文化理解の役割	単独	2013年11月	科学技術社会論学会	第12回年次研究大会講演会2013 (東京工業大学 大岡キャンパス)
(招待講演) 火を使う心、火を消す心、安全を願う心	単独	2013年1月	大阪府防火クラブ	平成24年度大阪府防火クラブ大会
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本鉄鋼協会 科学技術社会論学会 日本材料学会 日本安全教育学会 日本社会医学会 応用哲学会				
(社会貢献活動) 財団法人 生存科学研究所 評議員 NPO 法人 安全学研究所 理事 東芝エレベーター：未来エレベーターコンテスト2013 審査員 和歌山県防災会議委員				
(その他)				

■ 亀井克之

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 『危機管理とリーダーシップ』	共著	2013年10月	同文館出版	亀井克之・亀井利明著、205p。(第1章・第2章・第10章・第11章・第12章・第13章・第14章・第15章・第16章・あとがき執筆)
(分担執筆) 「事故と損害保険」	単著	2013年3月	ミネルヴァ書房	関西大学 社会安全学部[編]『事故防止のための社会安全学』第14章、pp.265-280.
(学術論文) フランスにおけるリスクマネジメントの現状から	単著	2013年1月	ソーシャルリスクマネジメント学会	『実践危機管理』第27号、pp.80-83。(査読なし)
Entrepreneurship education in Japanese universities—how we train for ‘risk taking’ in the culture of ‘risk adverse’	共著	2013年2月		Teruo Shinato, Katsuyuki Kamei and Leo-Paul Dana, <i>International Journal of Entrepreneurship and Small Business</i> , Vol.20 No.2, pp.184-204。(査読あり)
JAPAN'S HOUSE CONSTRUCTION WARRANTY AND ITS REINSURANCE SYSTEM (「日本における住宅瑕疵担保責任保険と再保険制度」)	共著	2013年3月	Kansai University Graduate School and Faculty of Safety Science	Katsuyuki Kamei Jean-Francois ESTIENNE, and <i>Safety Science Review</i> No.3, pp.21-40。(査読あり)
中小企業による安全・安心な街づくりの試み—間伐材を利用したブロック塀代替工法について—	共著	2013年3月31日	関西大学経済・政治研究所	亀井克之、岡室昇志、斎藤栄三、清水雅嗣、吉川裕樹、『セミナー年報2012』、pp.103-109。(査読なし)
Quand les enfants entrent dans les entreprises familiales… Cas d'étudiants/successeurs japonais,	共著	2013年5月	LA SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE GESTION	Katsuyuki Kamei, Sonia Boussaguet, Aude d'Andria, Romain Jourdan et Chris Belouad, <i>BULLETIN DE LA SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE GESTION</i> , no.30, pp.17-27 (査読なし)
(その他、論考・研究資料等) ESCEM—関西大学 日仏シンポジウム「持続的発展—経済と文化—」について	単著	2013年3月31日	関西大学経済・政治研究所	『セミナー年報2012』、pp.157-161.
研究ノート『フランスにおける中小企業の事業承継研究』	単著	2013年3月31日	事業承継学会	『事業承継』Vol.2、pp.115-125.
日本リスクマネジメント学会 創立35周年記念・国際会議参加と日本学術会議公開シンポジウム企画について	単著	2013年8月	ソーシャル・リスクマネジメント学会	『実践危機管理』第28号、pp.115-125.
(その他、エッセー) リスクマネジメントの考え方～今さら聞けない思考の基本	単著	2013年1月	株式会社タナベ経営	『経営視座』第1671号(連載「異色リスクマネジメント図鑑」Vol.5)、pp.15-17.
中小企業の事業承継問題とリスクマネジメント	単著	2013年2月	株式会社タナベ経営	『経営視座』第1672号(連載「異色リスクマネジメント図鑑」Vol.6)、pp.15-17.
ソーシャル・リスクマネジメント～港製器工業の安全・安心な街づくりの試み～	単著	2013年3月	株式会社タナベ経営	『経営視座』第1673号(連載「異色リスクマネジメント図鑑」Vol.7)、pp.15-17.
怒らないコミュニケーションでリスクを回避する	単著	2013年4月	株式会社タナベ経営	『経営視座』第1674号(連載「異色リスクマネジメント図鑑」Vol.8)、pp.16-17.
教育現場の取り組みに学ぶリスクマネジメント	単著	2013年5月	株式会社タナベ経営	『経営視座』第1675号(連載「異色リスクマネジメント図鑑」Vol.9)、pp.15-17.
ソーシャル・リスクマネジメントの実践	単著	2013年6月	株式会社タナベ経営	『経営視座』第1676号(連載「異色リスクマネジメント図鑑」Vol.10)、pp.15-17.
危機管理とリーダーシップ	単著	2013年7月	株式会社タナベ経営	『経営視座』第1677号(連載「異色リスクマネジメント図鑑」Vol.11)、pp.14-15.
先人の研究・古典に学び、理念・哲学を確立する	単著	2013年8月	株式会社タナベ経営	『経営視座』第1678号(連載「異色リスクマネジメント図鑑」Vol.12)、pp.14-15.

研 究 業 績

南仏プロバンス冬の風物詩	単著	2013年1月	株式会社扶洋 NEXT 編集委員会	『NEXT』Vol.62/2013新年号 (『太陽と健康の文化[南仏閑話]第9回), pp.11-12.
日本食は健康食 南仏アプトの自然食品店	単著	2013年4月	株式会社扶洋 NEXT 編集委員会	『NEXT』Vol.63/2013春号 (『太陽と健康の文化[南仏閑話]第10回), pp.13-14.
ワイン・ウォーズ 南仏の小村を揺るがしたモンダビ事件の教訓	単著	2013年7月	株式会社扶洋 NEXT 編集委員会	『NEXT』Vol.64/2013夏号 (『太陽と健康の文化[南仏閑話]第11回), pp.15-16.
おそるべし、フランスの日本ブーム—南仏小村の日本展から日本のロックバンドのバリ公演まで—	単著	2013年10月	株式会社扶洋 NEXT 編集委員会	『NEXT』Vol.65/2013秋号 (『太陽と健康の文化[南仏閑話]第12回), pp.17-18.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) リスクマネジメント研究の35年—保険管理からの心の危機管理まで—	単独	2013年6月28日	日本学術会議一部経営学委員会・日本リスクマネジメント学会	日本リスクマネジメント学会 関東部会—学会創立35周年記念 公開シンポジウム, 於 日本学術会議講堂
(国際会議発表) 35 years' research trends on risk management by Japan Risk Management Society, Aspects of risk management after March 11	共同	2013年3月15日	WEAI (Western Economic Association International)	Session organized by Japan Risk Management Society in 10th Biennial Pacific Rim Conference, WEAI (Western Economic Association International), Keio University, March 15
(研究報告) 間伐材を利用したブロック塀代替工法	共同	2013年1月29日	関西大学先端科学技術水深機構	岡室昇志・吉川裕樹・亀井克之, 第17回関西大学先端技術科学技術シンポジウム, 関西大学100周年記念会館
子どもの安全とリスク・コミュニケーション研究班の活動について	単独	2013年3月29日	関西大学経済・政治研究所	平成24年度関西大学経済・政治研究所顧問との懇談会
(国際シンポジウム・実行委員長) 「新たなリスクと中小企業」(Les PME face aux nouveaux risques), 日仏公開討論会	単独	2013年9月13日	主催 アンステイチュ・フランセ関西/在日フランス大使館, 共催 関西大学社会安全学部 日本リスクマネジメント学会	日仏公開討論会 関西大学 千里山キャンパス
(学会全国大会 実行委員長) 日本リスクマネジメント学会 創立35周年記念 第37回全国大会	単独	2013年9月13日-14日	日本リスクマネジメント学会	関西大学 千里山キャンパス
(招待講演) 防災と街づくり	単独	2013年3月2日	KUMC 茨木市民活動センター	KUMC 茨木市民活動センター主催, 市民フォーラム「東日本大震災から2年を経て、見えてきた課題」茨木市民会館
「ワイン・ウォーズ〜モンダヴィ事件〜」をめぐるワインと南仏の話	単独	2013年4月27日	アンステイチュ・フランセ関西 大阪	アンステイチュ・フランセ関西 大阪講演会
海外におけるリスクマネジメントの現状	単独	2013年6月1日	大阪能率協会	大阪能率協会 第13回RM講座 マイドーム大阪
マーケティング戦略・事例研究	単独	2013年10月10日	大阪工業協会	経営マネジメントビジネススクール 大阪工業協会
リスク・コミュニケーション教材「子どもの安全」版の開発—子どもの安全とリスク・コミュニケーション研究班4年間の活動総括—	単独	2013年11月13日	関西大学 経済・政治研究所	第203回産業セミナー 関西大学 千里山キャンパス 尚文館1階マルチメディアAV大教室, 2013年11月13日
マラソンと地域スポーツから見た安全・安心な街づくり	単独	2013年11月20日	関西大学 高槻ミュージックキャンパス公開講座	関西大学 ミューズキャンパス
リスクマネジメントの考え方	単独	2013年12月6日	近畿・中国高速道路消防協議会	近畿・中国高速道路消防協議会研修会 吹田市消防本部
リスクマネジメントの基本的な考え方〜企業における事例より〜	単独	2013年12月6日	大阪市教育委員会	大阪市立高等学校 教育研究会 全体集会 大阪市教育センター

社会安全学研究 第4号

子どもの安全とリスクマネジメント	単独	2013年12月6日	福知山市教育委員会・福知山市子ども安全対策連絡協議会	平成25年度福知山市子ども・地域安全セミナー 夜久野ふれあいプラザ 文化ホール
リスクマネジメント	単独	2013年12月12日	大阪工業協会	経営マネジメントビジネススクール 大阪工業協会
(高大連携事業 他)				
危機管理とリーダーシップ	単独	2013年1月17日	関西大学高大連携事業 Kan-Daiセミナー	大阪府立千里青雲高等学校
危機管理とリーダーシップ	単独	2013年3月12日	関西大学高大連携事業 Kan-Daiセミナー	鳥根県立江津高等学校
危機管理とリーダーシップ	単独	2013年9月27日	関西大学高大連携事業 Kan-Daiセミナー	大阪府立山田高等学校
危機管理とリーダーシップ	単独	2013年11月10日	関西大学高大連携事業 Kan-Daiセミナー	大阪府立市岡高等学校
危機管理とリーダーシップ	単独	2013年11月16日	関西大学高大連携事業 Kan-Daiセミナー	大阪府立市岡高等学校
危機管理とリーダーシップ	単独	2013年8月24日	関西大学サマーキャンパス 模擬講義	関西大学高槻ミュージックキャンパス
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(C) 課題番号: 24530436	研究代表者	2012~2017年	800 (5,000)	中小企業の事業承継に関する日仏共同研究を通じた事業承継リスクマネジメントの提案
公益財団法人 大阪産業振興機構, おおさか地域創造ファンド	共同研究者	2012~2014年	6,000 (10,000)	ブロック塀代替工法としての「間伐材による万年塀スーパーフェンス」の開発
以下, フリー記入				
(所属学会)				
日本リスクマネジメント学会 副理事長 事務局長				
日仏経営学会 常任理事				
ファミリービジネス学会 理事				
ソーシャル・リスクマネジメント学会				
事業承継学会				
日本商品学会				
日本経営学会				
日本中小企業学会				
情報経営学会				
リスク研究学会				
AIREPME (Association Internationale de Recherche en Entrepreneuriat et PME)				
(社会貢献活動)				
関西大学経済・政治研究所, 子どもの安全とリスク・コミュニケーション研究班, 主幹				
日本経済学会連合 評議員				
経営学関連学会連絡協議会 委員				
モンペリエ第一大学, 企業家活動研究所 Labex Entreprendre, 学術委員会委員 Université Montpellier I, Laboratoire d'Excellence Entreprendre (Labex Entreprendre), Membre de comité scientifique				
フランス中小企業経営者健康問題支援機構 AMAROK L'Observatoire de la santé des dirigeants de PME 日本支部 (AMAROK Japan) 事務局長				
日本リスクマネジメント学会 WEBJARMS WEB管理責任者				
老朽化ブロック塀立替工法スーパーフェンス (施工: 港製器工業株式会社) 関西大学社会安全学部亀井研究室・大阪府森林組合協力事業, 2012年12月, 大阪市北区ほか				
関西大学 体育会 準硬式野球部 顧問				
通訳案内士・フランス語 (1996年合格・大阪府免許登録1139号)				
通訳案内士・英語 (2011年合格・大阪府免許登録申請中)				
(非常勤講師)				
大阪医科大学 看護学部「くらしと安全・危機管理」担当				

## 研究業績

(その他業績として記載を希望する事項)

「社会安全体験実習 I を実施」『関西大学通信』Vol.427, 2013年11月, p.10.

(雑誌コメント)「徳田議員の女性スキャンダルに関して」『週刊朝日』, 2013年2月22日, p125

(新聞コメント)「アルジェリア人質事件の波紋―リスク感性を磨き,常に最悪のシナリオを考えよ」『日経ビジネスオンライン』, 2013年2月6日(水)

(新聞コメント)「断ち切れぬ不祥事連鎖」『日本経済新聞』,2013年6月26日,p.47.

(新聞コメント)「[監査中、観楓会参加募る] JR北海道 指摘受け中止」『北海道新聞』, 2013年10月4日, p.31

(新聞コメント)「JR北海道関連 調査事案異例の7件」『北海道新聞』, 2013年9月27日夕刊, p.12

(新聞コメント)「発言撤回 連携不足も JR会見混乱露呈」『四国新聞』, 2013年9月26日

(新聞コメント)「発言撤回 連携不足も JR会見混乱露呈」『神戸新聞』, 2013年9月26日

(コメント)「[黒子のバスケ] 撤去は妥当な判断だった」, @nifty ニュース, 2013年10月31日

(コメント)「[黒子のバスケ] 撤去は妥当な判断だった」, THE PAGE, 2013年10月31日

(コメント)「[黒子のバスケ] 撤去は妥当な判断だった」, yahoo ニュース, 2013年10月31日

(コメント)「[黒子のバスケ] 撤去は妥当な判断だった」, エタウィル, 2013年10月31日

(コメント)「[黒バス撤去は] 妥当な判断だった」, livedoorNEWS, 2013年10月31日

(インタビュー)「機能不全 JR北海道に何が」, 朝日新聞デジタル, 2013年10月17日

(記事作成協力) 石井至「優れた思考力育成法「シンキングツール」で関西の抜群人気校に!関西大学初等部」『ducare』Vol.16, 日本経済新聞出版社, p.104

(記事作成協力)「RM研究の過去・現在・未来 学際的な視点で今後の展望を議論」『保険毎日新聞』, 2013年7月25日, p.7

(記事作成協力)「日本RM学会 公開討論会「新たなリスクと中小企業」 中小企業に潜むリスク 経営者の判断重要」『保険毎日新聞』2013年10月16日

(テレビ番組・コメント) タレントの謝罪会見に関してコメント, 『アッコにおまかせ』TBS, 2013年10月20日 OA.



■ 高鳥毛 敏 雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文)				
原発事故避難区域への保健師派遣に関する実践活動と課題の検討	単著	2013年2月	関西大学社会安全研究科・社会安全学部	社会安全学研究, 高鳥毛敏雄, No.3, 85-98.
現代社会における社会医学の立ち位置	単著	2013年6月	日本社会医学会	社会医学研究, Vol.30(2), 1-6.
(その他, 論考・研究資料等)				
大阪の結核問題の克服をめざす	単著	2013年2月	大阪公衆衛生協会	大阪公衆衛生, Vol.84, 2-3.
災害時の公衆衛生活動と保健師の役割	単著	2013年2月	東北大学大学院医学系研究科地域ケアシステム看護学分野	平成24年度3.11宮城県災害時保健活動の連携検証事業報告書, 東日本大震災の体験を今に, 未来につなぐ, p211-215.
プライマリケアセンター, 結核予防・治療システムについて	単著	2013年3月	四天王寺大学	日本学術振興会科学研究費補助金事業「ホームレス者の健康支援を通じた社会的包摂の推進に関する研究」(研究代表者逢坂隆子) 平成22・23・24年度研究報告書, p105-111.
食品事件・事故と食品安全システム	共著	2013年3月	ミネルバ書房	関西大学社会安全学部編 事故防止のための社会安全学, 第9章 食品事件・事故と食品安全システム, pp159-181.
プライマリケアセンターを基盤とした結核センター構想—大阪市の「西成特区構想」—	単著	2013年4月	医学書院	公衆衛生, Vol.77, No.4, 306-309.
結核対策	共著	2013年7月	明石書店	鈴木亘編, 脱・貧困のまちづくり「西成特区構想」の挑戦, 第6章, pp72-79
釜ヶ崎のホームレス者にみる結核感染と社会	単著	2013年7月	京都大学グローバル生存学大学院連携プログラム	学際トーク・カフェ, No.2, pp4-6
Benzodiazepineの使用と認知症のリスク: 地域住民に基づいた前向き研究 Benzodiazepine use and risk of dementia: prospective population based study. BMJ. 2012 Sep 27;345:e6231. doi: 10.1136/bmj.e6231.	翻訳監修	2013年1月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update
神経学的疾患における小胞体機能障害 Endoplasmic reticulum dysfunction in neurological disease. Lancet Neurol. 2013 Jan; 12 (1) :105-18. doi: 10.1016/S1474-4422 (12) 70238-7.	翻訳監修	2013年2月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update
出生前に抗てんかん薬に曝露された小児における神経発達障害の有病率 The prevalence of neurodevelopmental disorders in children prenatally exposed to antiepileptic drugs J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2013 Jan 31.	翻訳監修	2013年3月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update
2009年パンデミックインフルエンザ(A/H1N1)型に対するAS03アジュバント添加ワクチンの若年者に対するナルコレプシーのリスクの検討: 後ろ向き調査 Risk of narcolepsy in children and young people receiving AS03 adjuvanted pandemic A/H1N1 2009 influenza vaccine: retrospective analysis BMJ. 2013 Feb 26;346:f794. doi: 10.1136/bmj.f794.	翻訳監修	2013年4月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update

研 究 業 績

<p>関節リウマチの全国コホートをを用いた診断3年後の就労障害要因の予測 Predictors of work disability during the first 3 years after diagnosis in a national rheumatoid arthritis inception cohort Ann Rheum Dis. 2013 Mar 21.</p>	翻訳監修	2013年5月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update
<p>関節リウマチの抗腫瘍壊死因子療法による悪性黒色腫の発症リスクの検討：スウェーデンの地域住民に基づいた全国的な前向きコホート研究 Rheumatoid arthritis, anti-tumor necrosis factor therapy, and risk of malignant melanoma: nationwide population based prospective cohort study from Sweden BMJ. 2013 Apr 8;346:f1939. doi: 10.1136/bmj.f1939.</p>	翻訳監修	2013年6月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update
<p>座位中心で生活するパーキンソン病患者の身体活動と体力の増進：無作為化比較対照試験 Promotion of physical activity and fitness in sedentary patients with Parkinson's disease: randomized controlled trial BMJ. 2013 Mar 1;346:f576. doi: 10.1136/bmj.f576.</p>	翻訳監修	2013年7月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update
<p>パーキンソン病のCamPaIGN調査研究：集団ベースの発症者コホートの10年間の追跡結果 The CamPaIGN study of Parkinson's disease: 10-year outlook in an incident population-based cohort J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2013 Jun 18.</p>	翻訳監修	2013年8月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update
<p>アイスランドの出生コホートにおける自閉症スペクトラム障害の有病率 Prevalence of autism spectrum disorders in an Icelandic birth cohort BMJ Open. 2013 Jun 20;3 (6) . pii: e002748. doi: 10.1136/bmjopen-2013-002748. Print 2013.</p>	翻訳監修	2013年9月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update
<p>関節リウマチ患者における看護師主導ケアの転帰と費用対効果：多施設共同無作為化比較対照試験 The outcome and cost-effectiveness of nurse-led care in people with rheumatoid arthritis: a multicentre randomised controlled trial Ann Rheum Dis. 2013 Aug 27. doi: 10.1136/annrheumdis-2013-203403.</p>	翻訳監修	2013年10月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update
<p>全身性硬化症患者の皮膚ではインターロイキン-17A陽性細胞数が増加しており、その数は皮膚病変の程度と逆相関する Interleukin-17A+ cell counts are increased in systemic sclerosis skin and their number is inversely correlated with the extent of skin involvement. Arthritis Rheum. 2013 May;65 (5) :1347-56. doi: 10.1002/art.37860.</p>	翻訳監修	2013年11月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update

変形性膝関節症又は変形性股関節症患者に対してジクロフェナク徐放性製剤と併用する場合の tanezumab の有効性と安全性の検討：二重盲検、プラセボ対照、並行群間、多施設間、第 III 相無作為化試験 Efficacy and safety of tanezumab added on to diclofenac sustained release in patients with knee or hip osteoarthritis: a double-blind, placebo-controlled, parallel-group, multicentre phase III randomised clinical trial. Ann Rheum Dis. 2013 Jul 12. doi: 10.1136/annrheumdis-2012-203164.	翻訳監修	2013年12月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) イギリスの公衆衛生制度と専門職の教育	単独	2013年7月7日	日本社会医学会	第54回日本社会医学会総会・一般演題、八王子市
シンポジウム 社会医学的に見た健康課題とその対応	単独	2013年7月7日	日本社会医学会	第54回日本社会医学会総会、八王子市
大阪府内における結核対策に関わる公衆衛生体制の課題	単独	2013年7月13日	日本結核病学会	第111回日本結核病学会・第81回日本呼吸器学会 近畿地方会、大阪市
Public health system reform and workforce development—Comparative study between UK and Japan—	共同	2013年9月11日	Public Health England	Public Health England, Annual Conference 2013, Coventry, UK.
自由集会 南相馬市における 発災後から3年目までの保健活動	共同	2013年10月23日	日本公衆衛生学会	第72回日本公衆衛生学会総会、津市
シンポジウム 原子力災害における公衆衛生の取り組み	共同	2013年10月24日	日本公衆衛生学会	第72回日本公衆衛生学会総会、津市
地域の保健医療を担う医師職のあり方に関する検討—大阪府医師会会員調査から—	共同	2013年10月25日	日本公衆衛生学会	第72回日本公衆衛生学会総会、津市
地域の保健医療を担う医師職のあり方に関する検討	共同	2013年11月10日	大阪府医師会	大阪府医師会医学会総会、大阪市
(招待講演) 保健所の役割、集団への対応をどう考えるか	共同	2013年1月20日	全国保健師活動研究会	第45回全国保健師活動研究会集、大阪医専、大阪市
被災地の公衆衛生活動における保健師の重要性	単独	2013年2月9日	東北大学大学院医学系研究科	東北大学大学院医学系研究科地域ケアシステム看護学分野公開講座、ホテルモントレ仙台、仙台市
自然災害時の特定給食施設の危機管理～災害支援のポイント～	単独	2013年2月19日	大阪府・大阪市・堺市・豊中市・高槻市・東大阪市 社団法人 大阪府栄養士会	特定給食講演会Ⅱ 大阪府立大学学術情報センター
看護政策学	単独	2013年4月27日	関西看護医療大学	関西看護医療大学 大学院 看護政策論
最近の結核と HIV・AIDS—保健師に期待すること—	単独	2013年7月17日	藍野大学	藍野大学看護学部
わが国の感染症の政策—フレームワークと政策の課題—	単独	2013年7月25日	京都大学大学院医学研究科	修士課程 感染症疫学
感染症パンデミックの企業が想定すべきワーストシナリオ	共同	2013年10月28日	関西大学社会安全学部	関西大学 第4回 東京シンポジウム
結核の基礎知識 高齢者結核のポイント	共同	2013年11月25日	高槻市保健所	高槻市保健所介護従事者講習
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 基盤研究 (S)	分担	2010～2014年	680 (1500)	食品リスク認知とリスクコミュニケーション、食農倫理とプロフェッションの確立

## 研 究 業 績

以下、フリー記入
(所属学会) 日本公衆衛生学会・評議員 日本結核病学会・評議員 日本社会医学会・副理事長
(社会貢献活動) 放送大学・客員教授 大阪大学大学院医学系研究科・非常勤講師 京都大学大学院医学研究科・非常勤講師 大阪府医師会調査委員会・委員 大阪府教育委員会事務局・学校保健技師 大阪府立学校職員健康審査会・常任委員 大阪府立学校結核対策審議会・委員 大阪府結核対策審議会・委員 大阪府結核対策評価委員会・委員 東大阪市感染症の診査に関する協議会・委員 大阪公衆衛生協会・保健計画部会長 NPOヘルスサポート大阪・常任理事 豊中市市民病院・病院運営審議会・委員 枚方市健康増進計画審議会・会長 高槻市保健医療審議会（新型インフルエンザ等）委員 健康おおさか21推進府民会議予防対策検討部会・委員長 雑誌「公衆衛生」・編集委員
(その他業績として記載を希望する事項)

■ 高野 一彦

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書)				
(学術論文) 製品事故・賄賂に関する経営者の責任	単著	2013年1月	ソーシャルリスクマネジメント学会	実践危機管理 第23号, pp.73-79.
(その他, 論考・研究資料等) 東日本大震災における企業の危機管理・BCPの実態調査と提言	共著	2013年6月	日本経営倫理学会	第21回研究発表大会予稿集, 蟻生俊夫・桑山三恵子・佐伯隆博・杉田純一・高野一彦・星野邦夫・山中裕共著
ソーシャルメディアのリスク管理	単著	2013年7月	経営倫理実践研究センター	経営倫理 第71号, pp.13-15.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 東日本大震災における企業の危機管理・BCPの実態調査と提言	共同	2013年5月14日	日本経営倫理学会 CSR研究部会	日本経営倫理学会 CSR研究部会, 於電力中央研究所
東日本大震災における企業の危機管理・BCPの実態調査と提言	共同	2012年6月15日	日本経営倫理学会	日本経営倫理学会第21回研究発表大会, 於白鷺大学
(招待講演, 学術シンポジウム・セミナー等) BCPの見直しと危機管理体制の再構築-東日本大震災の経験からの示唆-	単独	2013年1月28日	毎日新聞社	毎日新聞主催・関西大学共催「震災危機管理セミナー」での講演, 於毎日新聞オーバルホール
インターネット社会における企業のコンプライアンス	単独	2013年1月29日	九州電力株式会社	九州電力グループ「役員コンプライアンス講演会」での招聘講演, 於同社本社大会議室
グローバル企業における情報法コンプライアンス	単独	2013年3月14日	パナソニック株式会社	パナソニック株式会社「個人情報委員会」での招聘講演, 於同社本社会議室
企業を取り巻く法や社会の変化とコンプライアンス経営	単独	2013年3月19日	ハウス食品株式会社	ハウス食品株式会社「役員コンプライアンス勉強会」での招聘講演, 於同社東京本社会議室
製品事故における経営判断の合理性	単独	2013年5月28日	新日鉄住金株式会社	新日鉄住金株式会社「役員クライシス・シミュレーション・トレーニング」, 於新日鉄住金代々木研修センター
企業を取巻く法の変化と企業不祥事	単独	2013年7月6日	コクヨ株式会社	コクヨグループ「コクヨ リーダズフォーラム2013」での招聘講演, 於チサンホテル浜松町
企業におけるコンフリクトとファジーな問題の判断	単独	2013年7月8日	日本経営倫理士協会	日本経営倫理士協会「第17期 経営倫理士取得講座」, 於渋谷カサヤビル
社会から受容される行動-IT時代の社会受容性-	単独	2013年7月22日	東北電力株式会社	東北電力株式会社 秋田支店 役員・幹部社員対象「コンプライアンス勉強会」での招聘講演, 於同社秋田支店会議室
防災と経営者の責任-東日本大震災における企業の危機管理・BCPの実態調査をふまえて-	単独	2013年7月24日	関西大学社会安全学部	社会安全学セミナーにおける報告, 於関西大学高槻ミューズキャンパス
企業から見たわが国の個人情報保護法制の「有効性」と行政手続番号法	単独	2013年9月1日	堀部政男情報法研究会	堀部政男情報法研究会 第8回シンポジウム「プライバシー・個人情報保護の課題と展望」における研究報告, 於放送大学東京文京学習センター
問われる医薬品等ビジネスのSR	共同	2013年9月4日	日本経営倫理士協会	日本経営倫理士協会「医薬・ヘルスケアビジネスの社会責任」セミナーにおける山中裕氏(日本血液製剤機構)との講演, 於経営倫理実践研究センター会議室
情報法コンプライアンスと プライバシーに関する諸問題	単独	2013年9月10日	日本経済団体連合会	日本経済団体連合会企業行動委員会企画部会の招聘講演, 於経団連会館



研究業績

グローバル企業における コンプライアンス経営の重要性ーデータ保護と外国公務員贈賄を中心としてー	単独	2013年 9月30日	東洋ゴム工業株式会社	東洋ゴム工業株式会社「役員コンプライアンス勉強会」における招聘講演、於同社本社会議室
情報法コンプライアンスのグローバル・ダイナミズム	単独	2013年10月21日	日本データ通信協会	日本データ通信協会「2013年度個人情報保護マネジメントシステム研究会」における招聘講演、於ベルサール神保町
コンプライアンス経営の重要性ーグローバル企業における企業不祥事防止と危機管理ー	単独	2013年11月 1日	TDK 株式会社	TDK 株式会社「役員・幹部向け コンプライアンス講演」における招聘講演、於TDK テクニカルセンター大会議室
個人情報流出事件における経営判断の合理性	単独	2013年11月21日	アサヒグループホールディングス株式会社	アサヒグループ「第23回シニアリーガルプロモーター会議」における「幹部社員クライシス・シミュレーション・トレーニング」、於同社本社会議室
近時のコンプライアンス に関する留意点	単独	2013年11月22日	JA 全農いしかわ本部	JA 全農いしかわ本部・グループ会社責任者対象「コンプライアンス講演会」における招聘講演、於同本部大会議室
インターネット社会における 企業のコンプライアンスー情報管理のグローバル・ダイナミズムー	単独	2013年12月 2日	東北電力株式会社	「平成25年度 東北電力グループ企業倫理・法令遵守トップセミナー」における招聘講演、於東北電力本店大会議室
グローバル企業の情報管理とコンプライアンス ～ケーススタディを用いて～	単独	2013年12月16日	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク講演会における講演、於同ネットワーク会議室
コンプライアンス担当者のための法令研究と演習	単独	2013年12月25日	経営倫理実践研究センター	経営倫理実践研究センター 経営倫理総合部会における講演、於同センター会議室
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C)	代表	平成23～27年度	890 (4,100)	「情報法制と企業のコンプライアンスに関する比較研究」
ベネッセコーポレーション研究費寄付	代表	平成22～25年度	1,400 (12,800)	「共通番号制度と国民ID時代に向けたプライバシー・個人情報保護法制のあり方」 ※堀部政男情報法研究会を基盤とした共同研究
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本経営倫理学会 理事				
情報ネットワーク法学会 監事				
日本リスクマネジメント学会 評議員				
ソーシャルリスクマネジメント学会 理事				
日本リスク研究学会 会員				
企業法学会 会員				
法とコンピュータ学会 会員				
日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 会員				
(社会貢献活動)				
堀部政男情報法研究会 研究代表・理事 2010年 4月～現在				
経営倫理実践研究センター 主任研究員 2011年 3月～2012年 3月, 上席研究員 2012年 3月～現在				
日本経営倫理士協会 理事 2013年 8月～現在				
パナソニック株式会社 タスクフォース・アドバイザー 2012年11月～2013年 3月				
日本経営倫理学会 CSR 研究部会 「企業のBCP・危機管理WG」主査 2011年 9月～現在				
(その他業績として記載を希望する事項)				
企業のCSRレポートの第三者評価				
「関西電力グループレポート2013のCSRに関するページを読んで」、所収「関西電力グループレポート2013」2013年, p119.				
「グンゼCSR報告書2013 第三者意見」、所収「グンゼCSR報告書2013」2013年, p29.				
「第三者意見」、所収「ハウス食品グループCSRレポート2013」2013年, p17.				

■ 高橋 智幸

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 東北地方太平洋沖地震による津波災害から学ぶ—南海・東南海地震による津波に備えて— 防災教材 勇気をもって 災害を知り、いのちを守る	分担執筆  監修	2013年5月  2013年9月	土木学会  メディアアイランド	土木学会関西支部東北地方太平洋沖地震による津波被害特別調査研究委員会編集, p.31, 77-84 NNN, 読売新聞社, 関西大学社会安全学部, pp.44-59, 94-109
(学術論文) Large bedform generated by the 2011 Tohoku-oki tsunami at Kesenuma Bay, Japan	共著	2013年1月	Elsevier	Marine Geology, Tsuyoshi Haraguchi, Kazuhisa Goto, Masataka Sato, Yuichi Yoshinaga, Naofumi Yamaguchi, Tomoyuki Takahashi, Vol.335, pp.200-205, 査読有
津波に伴う土砂移動による海底地形変化	共著	2013年2月	日本流体力学会	ながれ, 第32巻, 第1号, 高橋智幸, 森下祐, 原口強, pp.15-20, 査読有
Numerical assessment of bathymetric changes caused by the 2004 Indian Ocean tsunami at Kirinda Fishery Harbor, Sri Lanka	共著	2013年9月	Elsevier	Coastal Engineering, D. Prasanthi Lanka Ranasinghe, Kazuhisa Goto, Tomoyuki Takahashi, Jun Takahashi, Janaka J. Wijetunge, Takeshi Nishihata, Fumihiko Imamura, Vol.81, pp.67-81, 査読有
GPS波浪計を用いた南海トラフでの津波警報の過小評価の判定指標	共著	2013年11月	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), 門廻充侍, 高橋智幸, 林能成, Vol.69, No.2 pp.L406-L410, 査読有
海洋レーダを利用したインバージョンに対するレーダ観測時間の影響	共著	2013年11月	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), 藤良太郎, 日向博文, 藤井智史, 高橋智幸, Vol.69, No.2 pp.L436-L440, 査読有
縄文時代早期の大阪湾とその周辺陸域における津波解析	共著	2013年11月	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), 鈴木進吾, 河田恵昭, 高橋智幸, Vol.69, No.2 pp.L1346-L1350, 査読有
(その他, 論考・研究資料等)				
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 2011 Tohoku tsunami hydrographs, currents, flow velocities and ship tracks based on video and TLS measurements	共同	2013年4月7-12日	European Geosciences Union	EGU General Assembly 2013, Austria, Fritz, Hermann M. David A. Phillips, Akio Okayasu, Takenori Shimozono, Haijiang Liu, Seiichi Takeda, Fahad Mohammed, Vassilis Skanavis, Costas E. Synolakis, Tomoyuki Takahashi, Geophysical Research Abstracts, Vol.15, EGU2013-12732
Numerical investigation of tsunami sedimentation; a preliminary result from the 2011 Tohoku-oki tsunami at Sendai Plain	共同	2013年5月13-17日	Geological Society of Taiwan	Western Pacific Sedimentology Meeting, Taiwan, Daisuke Sugawara, Tomoyuki Takahashi, Fumihiko Imamura, 2013WPSM-S1.1-O3
東北沖地震の津波による堆積物形成の数値シミュレーション	共同	2013年5月19-24日	日本地球惑星科学連合	2012年度連合大会, 千葉, 菅原大助, 高橋智幸, 今村文彦, MIS25-P05
Real Time Estimation of Tsunami Source Magnitude by the GPS-mounted Buoys in the Nankai Trough	共同	2013年6月26日	Asia Oceania Geosciences Society	AOGS 10th Annual Meeting 2013, Brisbane, Shuji Seto, Tomoyuki Takahashi, Yoshinari Hayashi, IG05-04-24-D3-PM2-M2-004
Characteristics of Measured and Computed Bathymetry Changes Due to the 1960, 2010 and 2011 Tsunamis	共同	2013年9月25-28日	Joint Tsunami Commission	International Tsunami Symposium 2013, Gocek, Turkey, Yu Morishita, Tomoyuki Takahashi, Tsuyoshi Haraguchi

研究業績

Investigating tsunami sediment transport: a numerical modeling on the 2011 Tohoku-oki tsunami	共同	2013年9月25-28日	Joint Tsunami Commission	International Tsunami Symposium 2013, Gocek, Turkey, Daisuke Sugawara, Tomoyuki Takahashi, Fumihiko Imamura
Influence of Integration Time on Tsunami Inversion by Oceanographic Radar	共同	2013年9月25-28日	Joint Tsunami Commission	International Tsunami Symposium 2013, Gocek, Turkey, Ryotaro Fuji, Hirofumi Hinata, Satoshi Fujii, Tomoyuki Takahashi
Avoiding Underestimation of Tsunami Warning by Using the GPS-Mounted Buoys in the Nankai Trough	共同	2013年9月25-28日	Joint Tsunami Commission	International Tsunami Symposium 2013, Gocek, Turkey, Tomoyuki Takahashi, Shuji Seto, Yoshinari Hayashi
The basic study on tsunami reduction effect for the structures of submerged breakwater which is of the pyramid type	共同	2013年9月25-28日	Joint Tsunami Commission	International Tsunami Symposium 2013, Gocek, Turkey, Kenzou Kumagai, Tomoyuki Takahashi, Tetsuya Hiraishi
Velocity Fields of Propagating Tsunami Wave and Subsequent Resonant Oscillation Revealed by Oceanographic Radars in the Kii Channel, Japan	共同	2013年9月25-28日	Joint Tsunami Commission	International Tsunami Symposium 2013, Gocek, Turkey, Hirofumi Hinata, Ryotaro Fuji, Satoshi Fujii, Takahiro Kokai, Hiroshi Nagamatsu, Tomoyuki Takahashi
Sediment transport by the 2011 Tohoku-oki tsunami at Sendai Plain: implications from numerical simulation	共同	2013年10月19-20日	G-EVER Consortium	2nd G-EVER International Symposium and the 1st IUGS & SCJ International Workshop on Natural Hazards, 仙台市, Daisuke Sugawara, Tomoyuki Takahashi and Fumihiko Imamura, Abstracts Volume, pp.80-82
2011年東北地方太平洋沖地震津波後2年間の気仙沼港内における地形変化	共同	2013年10月24-25日	日本応用地質学会	平成25年度日本応用地質学会研究発表会, 名古屋市, 川崎千晴, 原口強, 渡邊康司, 佐藤正孝, 高橋智幸
2011年東北地方太平洋沖地震津波により変化した気仙沼「十八鳴浜・九九鳴き浜」前面の海底地形調査	共同	2013年10月24-25日	日本応用地質学会	平成25年度日本応用地質学会研究発表会, 名古屋市, 柳瀬洋輝, 原口強, 渡邊康司, 川崎千晴, 佐藤正孝, 高橋智幸
2011年東北地方太平洋沖地震津波で形成された気仙沼西湾口部デューンの経時変化	共同	2013年10月24-25日	日本応用地質学会	平成25年度日本応用地質学会研究発表会, 名古屋市, 佐藤正孝, 原口強, 渡邊康司, 川崎千晴, 高橋智幸
防災教育を目的としたARハザードマップアプリケーションの開発	共同	2013年10月26-27日	日本災害情報学会	日本災害情報学会, 梅本拓馬, 高橋智幸, 熊谷健蔵, 伊豆隆太郎, 川上晋也, 第15回研究発表大会予稿集, pp.70-73
ARを使用した東北地方太平洋沖地震津波に関する現地調査結果の可視化	共同	2013年10月26-27日	日本災害情報学会	日本災害情報学会, 伊豆隆太郎, 熊谷健蔵, 梅本拓馬, 高橋智幸, 住吉賢一, 第15回研究発表大会予稿集, pp.206-207
HF帯海上伝搬特性の予測と実測	共同	2013年11月14-16日	電気学会	第42回電磁界理論シンポジウム, 青森県三沢市, 西岡泰弘, 小林立範, 中西孝行, 稲沢良夫, 宮下裕章, 高橋智幸, 藤井智史, 花土弘, 日向博文
Tsunami characteristics and formation potential of sandy tsunami deposit in Sanriku Coast: implications from numerical modeling	共同	2013年12月9-13日	American Geophysical Union	AGU 2013 Fall Meeting, San Francisco, Daisuke Sugawara, Tsuyoshi Haraguchi, Tomoyuki Takahashi, NH51D-02
MF帯/HF帯地上波伝搬特性の予測と実測	共同	2013年12月18日	九州大学応用力学研究所	共同研究集会「海洋レーダを用いた海況監視システムの開発と応用」, 福岡, 西岡泰弘, 小林立範, 中西孝行, 稲沢良夫, 宮下裕章, 高橋智幸, 藤井智史, 花土弘, 日向博文
海洋レーダを利用した津波波源逆推定に対する影響要因の検討	共同	2013年12月18日	九州大学応用力学研究所	共同研究集会「海洋レーダを用いた海況監視システムの開発と応用」, 福岡, 藤良太郎, 日向博文, 藤井智史, 高橋智幸
(招待講演) 観測とシミュレーションを連携させた新たな津波防災	単独	2013年1月24日	日本地震工学会	日本地震工学会防災講習会, 建築会館ホール

社会安全学研究 第4号

津波防災の問題点と今後の方向性—東北地方太平洋沖地震による津波被害を踏まえて—	単独	2013年10月2日	鹿児島大学	鹿児島大学先端科学特別講義, 鹿児島大学
津波防災の今後の技術の方向性—観測, 警報, 防災情報—	単独	2013年11月12日	九州大学医学部	第60回海岸工学講演会前日シンポジウム, 九州大学医学部百年講堂
自立型防災教育を実現するための教材の提供～専門家に頼りすぎない防災教育を目指して～	単独	2013年12月6日	東北大学・関西大学	「生きる力」市民運動化プロジェクトシンポジウム, 関西大学ミューズホール
東日本大震災での津波被害を踏まえて今後の津波防災を考える	単独	2013年11月20日	土木学会西部支部沖縄会	第18回沖縄の土木技術を世界に発信する会シンポジウム, 那覇市バレット市民劇場
東日本大震災による津波被害を踏まえてこれらかの津波防災を考える	単独	2013年11月21日	大阪管区気象台	平成25年度地震解説業務研修, 大阪管区気象台
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B)	研究代表者	2011～2013年	3,200 (12,400)	津波防災におけるグローバル・スタンダードとなりえる新たな大規模ハードウェアの開発
文部科学省科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究	研究代表者	2013～2014年	200 (1,600)	自立型発電システムを用いたサンゴ再生促進技術の開発
文部科学省科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究	研究分担者	2011～2013年	100 (350)	津波考古学の創成
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(S)	連携研究者	2012～2016年	0 (0)	「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(A)	連携研究者	2010～2013年	0 (0)	ミレニアム津波ハザードの総合的リスクと被災後の回復過程の評価
文部科学省高性能汎用計算機高度利用事業費補助金	事業協力者	2010～2015年	8,198 (14,418)	防災・減災に資する地球変動予測
独立行政法人科学技術振興機構・独立行政法人国際協力機構・地球規模課題対応国際科学技術協力プロジェクト	共同研究者	2011～2015年	2,910 (12,000)	津波に強い地域づくり技術の向上に関する研究
独立行政法人原子力安全基盤機構委託業務	研究代表者	2013年	49,999 (49,999)	津波堆積物に基づく津波波源推定手法の開発
京都大学防災研究所一般共同研究	研究代表者	2012～2013年	1,210 (4,400)	拡張現実を用いた津波ハザードマップ技術の開発
京都大学防災研究所一般共同研究	研究協力者	2012～2013年	150 (250)	高精度津波伝播計算法の開発とそれを用いた津波減災対策の検討
関西大学研究拠点形成支援経費	研究代表者	2012～2013年	9,500 (20,000)	東日本大震災を踏まえた観測およびシミュレーションが連携した津波減災技術の開発
研究教育拠点(COE)形成推進事業(研究助成金)	研究分担者	2013～2016年	1,800 (63,491)	神戸市等を対象とした自然災害シミュレーションとハザードマップ作成
三菱財団自然科学研究助成	研究協力者	2013～2014年	940 (6,000)	上設置型遠距離津波レーダ開発に基づく津波初期波形の直接計測
以下, フリー記入				
(所属学会) Americal Geophysical Union 土木学会 地震学会 自然災害学会 災害情報学会 歴史地震研究会 可視化学会				

## 研 究 業 績

(社会貢献活動)

The IUGG Joint Tsunami Commission Member

土木学会, 原子力土木委員会委員

土木学会, 原子力土木委員会津波評価部会委員

土木学会, 地震・津波複合災害の推定手法および対策研究小委員会委員

土木学会, 原子力安全土木技術特定テーマ委員会委員

土木学会, 技術者資格委員会委員

土木学会, 海洋開発委員会海洋開発論文集査読小委員会委員

土木学会, 関西支部, 東北地方太平洋沖地震による津波災害特別調査研究委員会幹事

日本地震工学会, 原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する委員会委員

日本自然災害情報学会, 編集委員会委員

文部科学省, 地震調査研究推進本部専門委員

国土交通省, 津波防災に関する懇談会メンバー

国土交通省, 東北地方整備局, リバーカウンセラー

大阪府, 防災会議専門委員

大阪府, 南海トラフ巨大地震被害想定検証部会委員

大阪府, 南海トラフ巨大地震に対する土木構造物耐震対策検討部会委員

大阪府, 石油コンビナート等防災本部専門員

大阪府, 石油コンビナート等防災本部地震・津波被害想定等検討部会委員

大阪府, 河川構造物等審議会委員

大阪府, 港湾審議会

堺市, 津波避難対策検討協議会委員

吹田市, 総合計画審議会委員

兵庫県, 淡路圏域における漁港・漁村の地震津波防災対策委員会委員

徳島県, 津波浸水・地震動被害プロジェクトチーム委員

広島県, 広島沿岸海岸保全基本計画変更検討委員会

広島県, 地震被害想定調査検討委員会委員

三重県, 防災会議専門委員

三重県, 防災会議被害想定調査委員会委員

三重県, 新地震対策行動計画策定にかかる業務委託のワーキング委員会

独立行政法人原子力安全基盤機構, 原子力耐震安全研究委員会委員

独立行政法人原子力安全基盤機構, 地震動・津波評価検討会委員

独立行政法人原子力安全基盤機構, 津波堆積物調査・評価分科会委員

財団法人防災研究協会, 非常勤研究員

特定非営利活動法人大規模災害対策研究機構, 理事

(その他業績として記載を希望する事項)

日本港湾協会論文賞受賞

■ 土田 昭 司

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 事故防止のための社会安全学	分担	2013年2月	ミネルバ書房	関西大学社会安全学部(編)(担当部分「事故の社会心理」Pp.182-198)
(学術論文) Risk Literacy and Risk Perception among Undergraduates in China: Case of BSE	共著	2013年3月	Taylor & Francis	Human and Ecological Risk Assessment: vol. 19, No. 2: 526-537 (Coauthors: Ma, H., Zhai, G.) (査読有)
原子力利用に世論がめざすもの	単著	2013年4月	日本伝熱学会	伝熱: 第52巻, 第219号: 61頁-67頁(依頼論文)
地域コミュニティにおける集団内関係性志向的認知と集合効力感および参加協力意図との関連: 奈良市における質問紙調査	共著	2013年11月	日本社会心理学会	社会心理学研究: 第29巻, 第2号: 113頁-119頁(共著者: 塩谷尚正・中原洪二郎)(査読有)
(その他、論考・研究資料等) Comparing disaster perception in Japan and the US	共著	2013年3月11日	日本リスク研究学会	S. Ikeda & Y. Maeda (eds.) Emerging Issues Learned from the 3.11 Disaster as Multiple Events of Earthquake, Tsunami and Fukushima Nuclear Accident, Pp. 59-61 (Coauthors: Tsujikawa, N., Shiotani, T., Nakagawa, Y.) (依頼原稿)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 「原子カムラ」の境界を越えるための研究: (1) 研究全体のコンセプト	共同	2013年3月26日	日本原子力学会	日本原子力学会 2013年春の年会(近畿大学[大阪府東大阪市])(木村浩・神崎典子・篠田佳彦・別府庸子・諸葛宗男・久保稔と共同)
「原子カムラ」の境界を越えるための研究: (2) 専門家と市民への社会調査	共同	2013年3月26日	日本原子力学会	日本原子力学会 2013年春の年会(近畿大学[大阪府東大阪市])(木村浩・諸葛宗男・神崎典子・久保稔・篠田佳彦・別府庸子と共同)
「原子カムラ」の境界を越えるための研究: (3) フォーラムの設計	共同	2013年3月26日	日本原子力学会	日本原子力学会 2013年春の年会(近畿大学[大阪府東大阪市])(神崎典子・木村浩・篠田佳彦・別府庸子・諸葛宗男・久保稔と共同)
社会調査に見る「原子カムラ」の捉えられ方	単独	2013年9月4日	日本原子力学会	日本原子力学会 2013年秋の年会 総合講演・報告4「市民および専門家の意識調査・分析」特別専門委員会[社会・環境部会共催](八戸工業大学[青森県八戸市])
危機に対するリスク認知とコミュニケーション	単独	2013年9月20日	日本心理学会	日本心理学会 第77回大会 公募シンポジウム「複合災害(自然災害と事故)における人間心理を検討する: 東京電力福島第一原発事故をうけて」(札幌コンベンションセンター[北海道札幌市])[企画・話題提供・司会]
日本と中国の大学生における原子力発電の受容度の規定因	共同	2013年11月16日	日本リスク研究学会	日本リスク研究学会 第26回年次大会(中央大学[東京都文京区])(辻川典文・塩谷尚正と共同)
現代中国における若者のリスク認知: 出身地(大都市-地方)の違いによる効果を中心に	共同	2013年11月17日	日本リスク研究学会	日本リスク研究学会 第26回年次大会(中央大学[東京都文京区])(翟国方・辻川典文・塩谷尚正・中川由理と共同)
(招待講演) 子どもをあずかる施設の防災対策を考える	単独	2013年1月26日	(一社)大阪市私立保育園連盟	施設長研修会(大阪府立労働センター[大阪府大阪市])



研究業績

リスクと向き合う心理学	単独	2013年1月28日	環境省	群馬県 放射線による健康不安の軽減等に資する人材育成のための研修 第1回研修会 (太田商工会議所 [群馬県太田市])
リスクと向き合う心理学	単独	2013年2月26日	環境省	群馬県 放射線による健康不安の軽減等に資する人材育成のための研修 第3回研修会 (渋川市民会館 [群馬県渋川市])
住民とリスクを共有する心理学	単独	2013年3月12日	(一財)電気安全環境研究所:電磁界情報センター	電気事業者向け電磁界リスクコミュニケーション研修 (経団連会館 [東京都千代田区])
安全と向き合う心理	単独	2013年3月29日	(株)関西電力	原子力部門マネジメント研修 (関西電力株式会社原子力事業本部 [福井県美浜町])
親密な人間関係認識の陥穽とコンプライアンス	単独	2013年5月12日	(株)京進	京進スクール・ワン 滋賀地区コンプライアンス研修 (京都キャンパスプラザ [京都府京都市])
防災と市民意識	単独	2013年5月22日	高槻市民生委員児童委員協議会	平成25年度第一回高槻市民生委員児童委員協議会総会研修会 (高槻市現代劇場 [大阪府高槻市])
Japanese Citizens' Risk Perception toward Nuclear Power	単独	2013年5月31日	IAEA (International Atomic Energy Agency)	IAEA 原子力エネルギーマネジメントスクール [Nuclear Power: Advancing Technology and Social Consent] (東京大学 [東京都文京区])
親密な人間関係認識の陥穽とコンプライアンス	単独	2013年6月2日	(株)京進	京進スクール・ワン 奈良地区・兵庫地区コンプライアンス研修 (新梅田研修センター [大阪府大阪市])
ヒトの認識・判断の「不思議」	単独	2013年6月4日	関西大学	Kan-Dai 1セミナー (大阪青凌高等学校 [大阪府高槻市])
親密な人間関係認識の陥穽とコンプライアンス	単独	2013年6月16日	(株)京進	京進スクール・ワン 愛知地区コンプライアンス研修 (ウインク愛知 [愛知県名古屋])
原子力研究開発教育と心理学	単独	2013年11月19日	東京大学	東京大学大学院工学研究科 先進原子力特別講義第三 (東京大学 [東京都文京区])
リスクコミュニケーションの技術	単独	2013年12月3日	(公益)若狭湾エネルギー研究センター	(公益)若狭湾エネルギー研究センター「原子力安全等のコミュニケータ専門研修」(若狭湾エネルギー研究センター [福井県敦賀市])
東日本大震災以降の原子力発電に対する意識変化	単独	2013年12月3日	(公益)若狭湾エネルギー研究センター	(公益)若狭湾エネルギー研究センター「原子力安全等のコミュニケータ専門研修」(若狭湾エネルギー研究センター [福井県敦賀市])
リスクコミュニケーションとクライシスコミュニケーションの心理学	単独	2013年12月5日	(一社)日本保健物理学会	保物セミナー2013「東京電力福島第一原発事故とリスクコミュニケーション」(大阪科学技術センター [大阪府大阪市])
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
日本学術振興会「学術研究助成基金助成金」基盤C	代表	2011年度-2013年度	1,400 (2,700)	現在中国における大学生を中心とする若年層のリスク認知研究
電気安全環境研究所「受託研究」	代表	2012年-2015年	500 (2,520)	電磁界の認知度に関する調査研究
東北電力株式会社「受託研究」	代表	2013年度	1,412 (1,412)	EMFコミュニケーションの動向調査研究
文部科学省「国家課題対応型研究開発推進事業『原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ』」	分担(再委託先代表)	2012年度-2014年度	8,651 (16,286)	「原子力カムラ」の境界を越えるためのコミュニケーション・フィールドの試行
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本リスク研究会, The Society for Risk Analysis, 日本心理学会, 日本社会心理学会, 日本グループ・ダイナミクス学会, 日本応用心理学会, 日本行動計量学会, 法と心理学会, 日本原子力学会, 日本消費者行動研究会				

(社会貢献活動)

(公益財) JR 西日本あんしん社会財団, 「事業審査評価委員会」委員  
財電気安全環境研究所, 「情報提供委員会」委員  
財電気安全環境研究所, 「電磁界情報センター専門家ネットワーク」メンバー  
財大阪科学技術センター, 「電磁界 (EMF) に関する調査研究委員会」委員  
(一社) 日本原子力学会, 「市民および専門家の意識調査・分析」特別専門委員会主査  
(一社) 日本原子力学会, 「福島事故に関する社会的要因分析コアグループ」委員  
高槻市, 「高槻市消費者教育推進プログラム関係機関連携会議」委員長

(その他業績として記載を希望する事項)

平成25年度 日本応用心理学会 学会賞 (奨励賞) 受賞  
平成25年度 経済産業省主催「送電線等の電力設備のまわりに発生する電磁界の健康影響に関するシンポジウム」: パネルディスカッション司会者, 2013年12月17日, [日暮里サニーホール (東京都荒川区)]

研究業績

■ 中村隆宏

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 事故防止のための社会安全学	共著	2013年3月25日	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編、第7章「ヒューマンエラーと事故」(pp.120-138) 担当
心理学から考えるヒューマンファクターズ	共著	2013年4月30日	有斐閣ブックス	篠原一光・中村隆宏編、第13章「現実場面でのアプローチ」(pp.247-268) 担当
(学術論文)				
(その他、論考・研究資料等) 勇気をもって 災害を知り、いのちを守る	分担執筆	2013年9月1日		制作・著作：NNN、読売新聞社、関西大学社会安全学部 担当：「命や災害について考える①～⑩」
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 複合災害(自然災害と事故)における人間心理を検討する—東京電力第一原発事故をうけて—産業事故・ヒューマンエラーの観点から	共同	2013年9月20日	日本心理学会	日本心理学会第77回大会公募シンポジウムSS-031、札幌コンベンションセンター
被災地拠点空港における民間旅客機の協力・支援についての検証	共同	2013年11月15日	日本航空医療学会	第20回日本航空医療学会総会、福島テルサ
(招待講演) 産業事故とヒューマンエラー	単独	2013年1月30日	関西大学先端科学技術推進機構	第17回関西大学先端科学技術シンポジウム 関西大学100周年記念会館
3年連続労働災害増加の背景～現場における危険感受性の低下～	単独	2013年3月7日	厚生労働省	平成24年度あんぜんシンポジウム 女性就業支援センター(東京都港区芝)
時代の変化に対応した 教習機関のあるべき姿—教習機関として担うべき役割について考える—	単独	2013年6月5日(大阪)、6月14日(東京)	全国登録教習機関協会	実施管理者等交流会(KKR大阪、メルパルク東京)
ヒューマンエラーのマネジメント—担い手は誰か?—	単独	2013年7月5日	田辺三菱製薬工場株式会社	大阪工場安全講演会、大阪工場(大阪市淀川区加島)
安全の見える化さらにその先へ	単独	2013年8月21日	大阪南労働基準監督署	災害防止研修会、大阪市立阿倍野区民センター(大阪市阿倍野区阿倍野筋)
ヒューマンエラーと労働災害対策	単独	2013年10月25日	枚方市上下水道局	安全衛生研修会、枚方市上下水道局高度浄水施設パビリオン(大阪府枚方市上野2丁目)
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費(期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費助成事業(基盤研究C)	代表	2013年4月～2016年3月	1,200	産業事故防止のための危険体験教育の高度化
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本心理学会 正会員 日本応用心理学会 正会員 日本人間工学会 正会員 日本交通心理学会 正会員 産業組織心理学会 正会員 日本ヒューマンインタフェース学会 正会員 土木学会 正会員 電子情報通信学会 安全性研究専門委員会専門委員 正会員				

社会安全学研究 第4号

(社会貢献活動)

高所作業車「危険再認識教育」講師養成研修 総合指導, (社)全国登録教習機関協会, 2013年3月12日～13日 (アイチ研修センター テクノプラザ), 2013年9月9日～10日 (アイチ研修センター 上尾教習所)

「ヒューマンファクタ的視点からの組織安全向上のための取り組みに関する研究」技術情報交換研究会, 東北大学大学院工学研究科, 2013年4月～現在

平成25年度「安全教育研修」の実施に伴う指導・評価, 東京電力株式会社 総合研修センター, 2013年4月～現在

指定自動車教習所職員講習 講師, 一般社団法人大阪自動車学校協会 (大阪府門真市), 2013年6月1日～11月30日 (うち6回担当)

一般財団法人電力中央研究所 研究評価委員, 2013年8月1日 電力中央研究所大手町本部

ヒューマンエラー防止セミナー, 一般社団法人茨城県経営者協会, 2013年10月4日, ホテルレイクビュー水戸

(その他業績として記載を希望する事項)

研 究 業 績

■ 西 村 弘

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 事故防止の課題と方法	分担執筆	2013年3月	ミネルヴァ書房	第2章 事故と責任に関する考察 pp25-42
(学術論文) バス事業の概観	単著	2013年6月	交通運輸政策研究会	交通運輸政策研究会編『安全な貸切バス・高速バスを求めて』, pp.4-12
(その他、論考・研究資料等)				
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表)				
(招待講演) 道路自動車交通と安全	単独	2013年11月27日	関西大学社会安全学部	高槻ミュージックキャンパス 公開講座
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成24年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本交通学会(常務理事), 海運経済学会(理事), 港湾経済学会, 公益事業学会(監事), 交通権学会(理事・事務局長), 日本環境会議(理事), 日本物流学会				
(社会貢献活動) 2013年2月20日関西大学高大連携事業, Kan-Dai 1 セミナー「安全を考えるとどうということか?」篠山鳳鳴高等学校 2013年12月19日関西大学高大連携事業, Kan-Dai 1 セミナー「安全を考えるとどうということか?」上宮太子高等学校 公益財団法人 地域再生センター(通称:あおぞら財団) 評議員				
(その他業績として記載を希望する事項) 2013年2月20日神戸新聞 尼崎公害訴訟 協議終結へ 談話 2013年3月8日朝日新聞 尼崎公害訴訟協議終結についてのコメント 2013年6月13日読売放送 ニュースネット ten 尼崎公害訴訟協議終結についてのコメント 2013年6月14日毎日新聞 尼崎公害訴訟協議終結についてのコメント 2013年9月28日朝日新聞 JR西日本事故に対する三社長地裁判決におけるコメント				

■ 広瀬 幸雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨
(著書)				
(学術論文) 住民参加による河川整備計画の社会的受容と計画実現にむけた住民の協力意図とそれぞれの規定因	共著	2013年3月	関西大学社会安全学部	社会安全学研究, 3号 p.3-19. (査読有)
震災後の買い溜め, 買い控え行動の消費者の心理プロセスの検討	共著	2013年7月 (掲載決定)	日本心理学会	心理学研究, . (査読有)
精緻化見込みモデルから考察したNIMBY型事業の受容に及ぼす手続き的公正さの影響	共著	2013年8月 (掲載決定)	土木学会	土木学会論文集 D3, 69巻4号, p 267-275 (査読有)
(その他, 論考・研究資料等) ゲーミングを用いた市民参加型会議による環境計画策定の合意形成と社会的受容に関する研究	共著	2013年3月		財団法人科学技術融合振興財団委託研究研究成果報告書, p.1-70.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(口頭発表) The impacts of Fukushima nuclear accident on public acceptance of geological disposal of high level radioactive waste.	共同	2013年6月19日	the society of risk analysis	the 22th SRS-Europe Meeting, Trondheim, Norway
Procedural fairness and social acceptance of the Deliberative Poll on future energy and environmental policy.	共同	2013年9月21日	the society of environmental psychology	the 10th Biennial conference on environmental psychology, Madgeburg, Germany
意見分布の合意性推測と利害調整の理解を促す学習教材の開発	共同	2013年10月18日	日本社会心理学会	第54回社会心理学会大会
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成24年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究B	代表	2012年～2014年	5300千円 (14000千円)	高レベル放射性廃棄物地層処分政策の社会的受容の規定因に関する日欧比較調査研究
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本シミュレーション&ゲーミング学会 (理事), 日本社会心理学会 (編集委員), 日本心理学会, 土木学会, 日本リスク研究学会, 廃棄物資源循環学会, 環境教育学会				
(社会貢献活動)				
(その他業績として記載を希望する事項)				



研 究 業 績

■ 山 川 栄 樹

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 事故防止のための社会安全学	分担執筆	2013年2月	ミネルヴァ書房	第4章：リスク分析のための数理モデル、 pp. 62--78
(学術論文)				
(その他、論考・研究資料等)				
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表)				
(招待講演)				
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 応用数理学会 システム制御情報学会				
(社会貢献活動)				
(その他業績として記載を希望する事項)				

■ 川 口 寿 裕

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 事故防止のための社会安全学	分担執筆	2013年3月	ミネルヴァ書房	第3章 群集の事故と安全, pp.43-61を担当.
勇気をもって一災害を知り、いのちを守る	分担執筆	2013年9月	NNN, 読売新聞社, 関西大学社会安全学部	第7章 土砂災害, pp.128-141を担当.
(学術論文) 群集避難に関する粒子シミュレーション	共著	2013年3月	関西大学社会安全学部	川口寿裕, 清水貴史 (共同研究のため本人担当部分抽出不可能), 社会安全学研究, No.3, pp.75-84. (査読有)
DEM-CFD Analysis of Fluidization Behavior of Geldart Group A Particles Using a Dynamic Adhesion Force Model	共著	2013年11月	Elsevier	Kobayashi, T., Tanaka, T., Shimada, N. and Kawaguchi, T. (共同研究のため本人担当部分抽出不可能), Powder Technology, Vol. 248, pp. 143-152. (査読有)
(その他, 論考・研究資料等)				
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) メソスコピック MPS-DEM カップリングモデルによる固液二相流の数値解析	共同	2013年8月	日本混相流学会	混相流シンポジウム2013, 長野県.
(招待講演)				
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部省科学研究費補助金・基盤研究C	代表	2013~2015年	600 (3,800)	群集事故解析のための粒子モデルシミュレーション手法の開発とその検証
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本機械学会 粉体工学会 日本混相流学会, 編集委員会委員, ICeM 委員 可視化情報学会 日本災害情報学会 交通工学研究会				
(社会貢献活動)				
(その他業績として記載を希望する事項)				

研究業績

■ 越山健治

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 東日本大震災 住まいと生活の復興 住宅白書2011-2013	分担執筆	2013年6月	トメス出版	日本住宅会議編、「東海・東南海・南海地震にどう備えるか」(pp.310-312)を担当。
(学術論文)				
(その他、論考・研究資料等)				
災害後の住宅再建を見据えた都市空間の強靱性評価に関する研究	単著	2013年3月	国土交通省	平成24年度国土政策関係研究支援事業研究成果報告書
仮設住宅団地供給に見る都市の災害回復力の考察	単著	2013年8月	日本建築学会	2013年日本建築学会北海道大会梗概集F-1 都市計画, pp.1117-1118
被災者の住宅再建支援方策の歴史的展開	単著	2013年3月	日本建築学会	建築雑誌 第128号(1642),「第1部「近代復興」の成立,〈特集〉「近代復興」再考:これからの復興のために」pp.26-29
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 仮設住宅団地供給に見る都市の災害回復力の考察	単独	2013年8月	日本建築学会	2013年度日本建築学会大会学術講演会北海道大会
(招待講演)				
人は災害とともに生きる	単独	2013年1月20日	福良小学校	福良小学校 地域防災訓練
大震災から得られた地域の防災対策	単独	2013年1月26日	高槻市	防災指導員養成講座
高槻市を取り巻く災害危険性	単独	2013年2月3日	高槻市	防災指導員養成講座
社会安全学部の取り組みと今後の方向性	単独	2013年3月17日	兵庫県立大学	ひょうご大学防災プラットフォームシンポジウム
大震災の教訓から得られた今後の災害対策	単独	2013年3月18日	人と防災未来センター	第5回防災専門リレー講座
すまいが守るさまざまなもの	単独	2013年3月23日	京都市	市民向け耐震セミナー
災害に強いコミュニティづくり	単独	2013年3月28日	泉佐野市	平成24年泉佐野市地域教育協議会研修会
防災・減災研究から見た安全な避難所のあり方	単独	2013年5月18日	関西大学	ストップ・ザ・雑魚寝
災害対応が可能な組織体制とは	単独	2013年5月31日	新潟県	
危機管理総論	単独	2013年6月6日	人と防災未来センター	平成25年度春期災害対策専門研修「マネジメントコース」ペーシック
耐震補強からはじめるまちづくり	単独	2013年7月24日	高知市	高知市防災人づくり塾
巨大地震災害対応を念頭に置いた計画策定	単独	2013年7月24日	高知市	高知市職員研修
21世紀の地域の防災力を高める処方箋	単独	2013年8月6日	伊丹市	伊丹市産業情報センターセミナー
危機意識について	単独	2013年12月12日	国土交通大学	
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクトサブプロ③	分担	2012~2016年度	1800(8000)	関西圏における災害復興事例の分析
科学研究費 基盤研究(B)	分担	2013~2015年	350(700)	東日本大震災におけるCFWの実態調査と災害対応技術としての確立
科学研究費 基盤研究(B)	分担	2013~2015年	150(450)	東日本大震災からの住宅復興に関する被災者実態変化の追跡調査研究
科学研究費 挑戦的萌芽研究	分担	2013~2014年	200(400)	東日本大震災における課題構造の解明と実効性の高い順応的管理の体系化

以下、フリー記入
<p>(所属学会)</p> <p>日本建築学会 都市防災マネジメント小委員会委員          日本都市計画学会 防災部会          地域安全学会          日本火災学会          都市住宅学会          日本自治体危機管理学会          日本災害情報学会          日本災害復興学会</p>
<p>(社会貢献活動)</p> <p>大阪府石油コンビナート等防災本部地震・津波被害想定検討部会 委員          倉敷市健康機器管理初期対応等マニュアル改定検討会議 委員          高槻市 安満遺跡芝生公園整備構想検討会          岡山県 地震・津波対策専門委員会 委員          和歌山県 津波から逃げ切る支援プログラム 委員          原子力規制庁 緊急時の防災活動上必要な情報の整備に係る評価委員会          兵庫県 学校防災アドバイザー 委員          気象庁 防災気象情報の改善に関する検討会 委員</p>
<p>(その他業績として記載を希望する事項)</p>

研 究 業 績

■ 菅 磨志保

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書)				
(学術論文)				
(その他、論考・研究資料等)				
「被災地に学ぶプロジェクト」活動報告	共著	2013年	関西大学 社会安全学部	『社会安全学研究』Vol.3 (pp.139-146) 亀井克之氏ほか7名と共同執筆
災害が生み出したもの・生み出していくもの	単著	2013年	大阪ボランティア協会	『VoLo』483巻, 36-37頁
災害ボランティアとの連携	分担執筆	2013年	朝倉書店	『災害情報学事典』 (第3部 行政、第6章 行政対応の基本)
東日本大震災(災害を学ぼう③)	分担執筆	2013年	NNN、読売新聞社、 関西大学社会安全学部	『(防災教材) 勇気を持って: 災害を知り、いのちをまもる』災害を学ぼう③ (pp.8-13) を永松伸吾氏と共同執筆
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表)				
分科会6: 原発避難と支援 (企画運営)	共同	2013年10月12日	日本災害復興学会	日本災害復興学会 2013年大阪大会 (分科会全体責任者) 於 高槻ミュージズキャンパス
(招待講演)				
減災と市民活動 ～東日本大震災の経験から地域で考えること (基調講演)	単独	2013年1月26日	吹田市社会福祉協議会	平成24年度 吹田市社会福祉協議会福祉大会 於 吹田市文化会館・メイシアター
社会安全と大学での学び (全体企画、コーディネーター)	共同	2013年3月30日	関西大学 社会安全学部	平成24年度 社会安全学部講演会 於 高槻ミュージズキャンパス
避難者支援と被災生活 (講演、パネリスト)	単独	2013年5月18日	吹田市、関西大学	平成25年度 吹田市地域防災総合訓練 於 関西大学千里山キャンパス
非日常から日常を点検する・日常から非日常を想像する (全体企画、講演、コーディネーター)	共同	2013年7月6日	関西大学	第12回 関西大学 高槻ミュージズキャンパス公開講座 「災害との付き合い方～もしも馬-高槻断層が動いたら? 動く前に…」於 関西大学高槻ミュージズキャンパス
減災と市民活動	単独	2013年7月19日	関西大学中等部	平成25年度 中大連携進路学習 於 関西大学高槻ミュージズキャンパス
東日本大震災後の災害支援 ～「災害ボランティア」を中心に	単独	2013年11月23日	自治体間支援研究会	自治体間支援研究会 於名古屋大学環境学研究所
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省科学研究費(基盤研究C)	研究代表者	2011年度～2013年度	1,100,000円 (3,500,000円)	支援と受援の社会学: 災害に関わる市民活動に焦点を当てて
文部科学省科学研究費(挑戦的萌芽)	研究分担者	2012年度～2013年度	0円 (2,800,000円)	原発事故に伴う広域避難と支援の社会学
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本社会学会、地域社会学会、日本都市学会・関東都市学会 日本災害復興学会、日本災害情報学会、自然災害学会、地域安全学会				

<p>(社会貢献活動)</p> <p>内閣府「防災ボランティア活動検討会」有識者メンバー (平成16年度～現在に至る)</p> <p>「震災がつなぐ全国ネットワーク」幹事 (平成16年度～現在に至る)</p> <p>高槻市地域防災会議 委員 (平成24年3月～現在に至る)</p> <p>富岡町民広域避難者調査 連携協力者 (平成24年～現在に至る)</p> <p>日本災害復興学会 支援委員 (平成25年度)</p> <p>日本災害復興学会 大会実行委員会 副幹事長 (平成25年度)</p> <p>関西広域防災計画策定委員会 地震・津波及び風水害対策専門部会 委員 (平成25年6月～現在に至る)</p> <p>内閣府「大規模災害時におけるボランティア活動の広域連携に関する有識者会議」有識者メンバー (平成25年度)</p>
<p>(その他業績として記載を希望する事項)</p>



研究業績

■ 永田尚三

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 事故防止のための社会安全学	分担執筆	平成25年3月	ミネルヴァ書房	第12章 火災と消防システム, pp.79-94
(学術論文) 防災行政の今後の課題—海外の事例等から考える—	単著	平成25年2月	全国行政相談協議会	季刊行政相談 No.136, pp.36-43
消防団の現状と課題—共助の要である消防団の衰退を食止めることは可能なのか—	単著	平成25年5月	武蔵野大学政治経済研究所	武蔵野大学政治経済研究所年報第7号, pp.77-111
(その他、論考・研究資料等) 『アジアのオンブズマン—不正・腐敗・非効率と戦うアジア各国の諸機関と日本の行政相談・行政評価』書評	単著	平成25年6月	行政管理研究センター	季刊行政管理研究(142) 2013-06 pp.70-74
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 消防団の現状と課題—共助の要である消防団の衰退を食止めることは可能なのか?— 公共政策学教育におけるディベートの必要性	単 単	平成25年5月11日 平成25年6月1日	関西公共政策研究会 日本公共政策学会	第108回関西公共政策研究会(京都大学大学院人間・環境学研究科棟333演習室) 日本公共学会2013年度第17回研究大会(コラッセふくしま)テーマセッション1「公共政策学の新しい教育研修手法」
防災行政研究の現状と課題—防災行政研究は行政学の一研究分野として成立し得るのか—	単	平成25年10月26日	日本行政学会「災害と科学技術部会」	行政学会「災害と科学技術部会」第1回研究会(首都大学東京秋葉原キャンパス会議室「E」)
(招待講演) 地方自治体の危機管理	単	平成25年12月3日	愛知県豊山町	愛知県豊山町研修会(豊山町)
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費基盤(C)	代表	平成25年4月1日~平成28年3月31日	1820千円	住民防災組織の活性化策の比較研究—住民防災組織内の専門性—
関西大学若手研究者育成経費	代表	平成25年4月1日~平成26年3月31日	874千円	消防団管理に関する萌芽的研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本公共政策学会(関西支部運営委員) 日本地域政策学会(理事) 日本オンブズマン学会(理事) 日本行政学会、日本政治学会 日本法政学会				
(社会貢献活動) 政策研究フォーラム(評議員)				
(その他)				

■ 永松伸吾

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書)				
(学術論文)				
気仙沼市・南三陸町での被災事業者の求人・採用活動に関するヒヤリング調査 (1) —調査概要と対象事業所の属性について—	共著	2013年10月	日本災害復興学会	日本災害復興学会2013大阪大会講演論文集、神品麻史、田仲史典、永松伸吾 (共同調査につき本人担当部分抽出不可能) (86-87頁)
気仙沼市・南三陸町での被災事業者の求人・採用活動に関するヒヤリング調査 (2) —単純集計結果について—	共著	2013年10月	日本災害復興学会	日本災害復興学会2013大阪大会講演論文集、松尾優奈、伊藤篤史、鳥田実弥、永松伸吾 (共同調査につき本人担当部分抽出不可能) (88-91頁)
気仙沼市・南三陸町での被災事業者の求人・採用活動に関するヒヤリング調査 (3) —気仙沼市と南三陸町の比較—	共著	2013年10月	日本災害復興学会	日本災害復興学会2013大阪大会講演論文集、平井紀梨香、則藤聡志、岡本真奈、永松伸吾 (共同調査につき本人担当部分抽出不可能) (92-95頁)
被災者による被災者支援活動に関する調査 —宮城県多賀城市を事例として (速報) —	共著	2013年10月	日本災害復興学会	日本災害復興学会2013大阪大会講演論文集、岡田夏美ほか (共同調査につき本人担当部分抽出不可能) (96-97頁)
(その他、論考・研究資料等)				
巻頭言 東北から、世界に誇るレジリエントな社会を創ろう	単著	2013年7月	NPO 法人 HUG	東北復興新聞 第26号, 1頁
時評 防災・減災と国土強靱化	単著	2013年9月	公益財団法人 高速道路調査会	『高速道路と自動車』Vol.56, No.9, 13頁
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表)				
Do Cash for Work (CFW) programs promote disaster recovery? Lessons from the CFW program following the 2011 disaster at Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant	共同	2013年7月13日 ～16日	Natural Hazard Research Center	38th Annual Natural Hazards Workshop, Boulder
Emergency Employment after the Great East Japan Earthquake: A Region-Wide Analysis	共同	2013年7月13日 ～16日	Natural Hazard Research Center	38th Annual Natural Hazards Workshop, Boulder
災害復興過程におけるキャッシュ・フロー・ワーク —緊急雇用創出事業の現地調査から考える—	共同	2013年3月16日	日本NPO学会	第15回年次大会、東洋大学白山キャンパス
気仙沼市・南三陸町での被災事業者の求人・採用活動に関するヒヤリング調査 (1) —調査概要と対象事業所の属性について—	共同	2013年10月23日	日本災害復興学会	2013大阪大会、関西大学高槻ミュージックキャンパス
気仙沼市・南三陸町での被災事業者の求人・採用活動に関するヒヤリング調査 (2) —単純集計結果について—	共同	2013年10月23日	日本災害復興学会	2013大阪大会、関西大学高槻ミュージックキャンパス
気仙沼市・南三陸町での被災事業者の求人・採用活動に関するヒヤリング調査 (3) —気仙沼市と南三陸町の比較—	共同	2013年10月23日	日本災害復興学会	2013大阪大会、関西大学高槻ミュージックキャンパス
被災者による被災者支援活動に関する調査 —宮城県多賀城市を事例として (速報) —	共同	2013年10月23日	日本災害復興学会	2013大阪大会、関西大学高槻ミュージックキャンパス
(招待講演)				
キャッシュ・フロー・ワーク：東日本大震災での成果と課題	単独	2013年3月13日	独立行政法人労働政策研修・研究機構	労働政策フォーラム「震災から2年、復興を支える被災者の雇用を考える」、浜離宮朝日ホール 小ホール

研 究 業 績

ポスト311の減災政策に向けて	単独	2013年11月9日	東北大学リーディング大学院グローバル安全学教育研究センター	シンポジウム「災害と社会変動」
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
科学研究費 (基盤B)	代表	平成25年度 ～27年度	7,800	東日本大震災におけるCFWの実態調査と災害対応技術としての確立
科学研究費 (基盤S)	分担	平成24年度 ～28年度	1,500	「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策
科学研究費 (基盤B)	分担	平成25年度 ～27年度	250	大規模災害時における復旧・復興支援ガバナンスの比較研究
科学研究費 (挑戦的萌芽)	分担	平成25年度 ～26年度	250	震災復興政策における分配的正義
JR西あんしん社会財団	代表	平成25年度	2,000	被災者雇用による被災者支援活動に関する研究
文部科学省都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト「都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究」チーム	分担	平成24年 ～28年度	2,000	都市災害の経済シナリオ作成
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本公共政策学会、日本経済学会、日本計画行政学会、地域安全学会、日本自然災害学会、日本リスク研究学会、日本災害復興学会、日本自治体危機管理学会、日本行政学会				
(社会貢献活動) 関西広域防災計画策定委員会、鳥インフルエンザ・口蹄疫等対策専門部会 委員 大阪府新型インフルエンザ等対策審議会 委員 明石市地域防災計画予防計画評価委員会 委員長 茨木市新型インフルエンザ等対策審議会 副委員長 高槻市産業振興審議会 委員 檜葉町復興推進委員会 委員 日本災害復興学会大会実行委員会 委員 日本災害復興学会 企画委員長 労働政策研究・研修機構 (JILPT)「キャッシュ・フォー・ワーク (CFW) による被災者支援業務の実態調査」委員 ジャパン・プラットフォーム (JPF) 助成審査委員会 委員				
(その他) 2013年1月 岩手県復興フォーラムの誘致。シンポジウムのコーディネーターを務める 2013年10月12日～13日 日本災害復興学会大阪大会の企画運営 2013年12月14日 社会安全特別シンポジウム「日本最悪のシナリオと社会安全」を企画運営				

■ 林 能 成

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 事故防止のための社会安全学	分担執筆	2013年2月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編, 第13章 もう一つの安全神話の崩壊 (pp.246-264) を河田恵昭と分担執筆
巨大地震の科学と防災	共著	2013年12月	朝日新聞出版	金森博雄著, 瀬川茂子・林能成構成, 1章 (pp.3-36), 2章 (pp.37-58), あとがきにかえて (pp.205-215)
(学術論文) 鉄道における津波避難誘導標識の研究—紀伊半島を周遊するJR線の事例から—	単著	2013年3月	関西大学社会安全学部	社会安全学研究, vol.3 p.118-125, 査読有
Interviewing insights regarding the fatalities inflicted by the 2011 Great East Japan Earthquake	共著	2013年9月	European Geosciences Union	Natural Hazards and Earth System Sciences, 13, p.2173-2187, M. Ando, M. Ishida, Y. Hayashi, C. Mizuki, Y. Nishikawa, Y. Tu と共著, 査読有
GPS 波浪計を用いた南海トラフでの津波警報の過小評価の判定指標	共著	2013年11月	土木学会	土木学会論文集B2 (海岸工学), Vol.69, No.2, p.I_406-I_410, 門 廻 充 侍, 高 橋 智 幸 と 共 著, 査 読 有
(その他, 論考・研究資料等) 2012 ASC meeting (ウランバートル) 参加報告	単著	2013年2月	日本地震学会	日本地震学会ニュースレター, 24巻5号, p.22-25
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 断層スケーリング則の再検討	単独	2013年6月6日	津波レーダー研究会	津波レーダーについての研究集会, 与那国町複合公共施設「みんなの談話室」
地震動体験としての列車振動利用の検討	単独	2013年10月7日	日本地震学会	秋季大会, 神奈川県産業貿易センター(横浜市)
(招待講演) 都市の地震災害とハザードマップ	単独	2013年1月20日	阿倍野区	大阪市阿倍野区防災区民座談会, 阿倍野区役所大会議室
東日本大震災の被害実態と教訓	単独	2013年3月2日	茨木市社会福祉協議会	市民フォーラム「東日本大震災から2年を経て見えてきた問題」, 茨木市市民会館1階・ドリームホール
都市の地震災害に備える	単独	2013年3月17日	阿倍野区阪南連合町内会	阿倍野区阪南連合防災講演会, 阪南小学校講堂
東海・東南海地震に備えて～教職員が今やるべきこと～	単独	2013年5月29日	静岡県浜松特別支援学校	職員防災研修会・講演会, 浜松特別支援学校
地震防災における地震学の活かし方	単独	2013年6月12日	九州大学大学院	九州大学大学院理学府大学院講義「先端学際科学」, 九州大学農学部防音103教室
Overview on Earthquake	単独	2013年8月21日	Center for Indonesian Medical Students' Activities	ITESS 2013, Syiah Kuala Univ., Banda Aceh, Indonesia
Overview on Tsunami	単独	2013年8月22日	Center for Indonesian Medical Students' Activities	ITESS 2013, Syiah Kuala Univ., Banda Aceh, Indonesia
南海トラフ巨大地震への備え方 ～個人, 企業, 社会～	単独	2013年11月7日	日本金属プレス工業協会	日本金属プレス工業協会総会, 横浜・華正樓
東日本大震災から学ぶ巨大地震への備え	単独	2013年11月26日	塚口西自主防災会	巨大地震に備える防災講演・講習会, 尼崎市立花公民館
津波からの避難 ～東海地震と南海トラフ巨大地震～	単独	2013年11月28日	静岡県教育委員会	静岡県・学校防災アドバイザー事業, 静岡県中遠総合庁舎会議室
体験は地震防災教育を身近に感じるアプローチとなるのか?	単独	2013年12月27日	京都大学防災研究所	「体験からアプローチする地震防災教育」, 大阪市福島区民センター301 会議室

研 究 業 績

資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費・挑戦的萌芽研究	分担	2013～2014年	200(400)	東日本大震災における課題構造の解明と 実効性の高い順応的管理の体系化
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本地震学会, 代議員 歴史地震研究会 American Geophysical Union Seismological Society of America 日本地球惑星科学連合 日本災害情報学会				
(社会貢献活動) 和歌山県地震・津波被害想定検討委員会, 委員 静岡県学校防災アドバイザー, アドバイザー 日本金属プレス工業協会, 安全環境委員会, 委員 中部電力原子力安全技術研究所 アドバイザリ・コミッティ 委員				
(その他業績として記載を希望する事項) 教員免許状更新講習「東海地震を知る・教える(基礎編)」主担当, 日本地震学会主催, 静岡大学防災総合センター, 2013年7月30日.				

■ 元 吉 忠 寛

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 学校で役立つ社会心理学 A Delphi analysis of the aftermath of the 2011 Great East Japan Earthquake: a preliminary survey.	編著 共著	2013年3月 2013年3月	ナカニシヤ出版 日本リスク研究学会	Ikeda, S., & Maeda, Y. (Eds.), Emerging Issues Learned from the 3.11 Disaster as Multiple Events of Earthquake, Tsunami and Fukushima Nuclear Accident. Pp.25-29. (Maeda, Y., Seo, K., & Motoyoshi, T.)
乳がん検診を推進するべきか	分担執筆	2013年4月	名古屋大学出版会	伊勢田哲治・戸田山和久・調 麻佐志・村上祐子(編) 科学技術をよく考える-クリティカルシンキング練習帳 Pp.83-97.(青木滋之との共著)
血液型性格判断	分担執筆	2013年4月	名古屋大学出版会	伊勢田哲治・戸田山和久・調 麻佐志・村上祐子(編) 科学技術をよく考える-クリティカルシンキング練習帳 Pp.113-129.(久木田水生との共著)
社会的CT	分担執筆	2013年4月	名古屋大学出版会	伊勢田哲治・戸田山和久・調麻佐志・村上祐子(編) 科学技術をよく考える-クリティカルシンキング練習帳 Pp.139-141.
(学術論文) 治験に対する専門家のメンタルモデル-医師と治験コーディネーターとの比較- リスク教育と防災教育 医師と市民との間の医療用語の認知の差異に関する研究	共著 単著 共著	2013年3月 2013年3月 2013年5月	関西大学社会安全学部 日本教育心理学会 日本衛生学会	社会安全学研究, 3, 41-50.(元吉忠寛・平島太郎・吉田佳督)(査読有) 教育心理学年報, 52, 153-161.(査読有) 日本衛生学雑誌, 68, 126-137.(吉田佳督・吉田康子・元吉忠寛・齋藤充生・齋藤明子・早瀬隆司)(査読有)
(その他, 論考・研究資料等) 「被災地に学ぶプロジェクト」活動報告 社会的クリティカルシンキングのすすめ	共著 単著	2013年3月 2013年5月	関西大学社会安全学部 日本心理学会	社会安全研究, 3, 139-146.(菅磨志保・亀井克之・金子信也・城下英行・河野和宏・永松伸吾・林能成・越山健治・元吉忠寛) 心理学ワールド, 61, 17-20.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) Feeling conflicted and decision-making process: The effects of attitudinal ambivalence on information search and elaboration. 医師と薬剤師のそれぞれが推定する患者の医療用語の認知度に関する研究 Volunteers Awareness and Motivation among Undergraduate in Japan. 被災者による被災者支援活動に関する調査-宮城県多賀城市を事例として(速報)- 環境配慮行動を促すための情報提示手法	共同 共同 共同 共同 共同	2013年1月18日 2013年3月26日 2013年8月23日 2013年10月12日 2013年11月3日	Society for Personality and Social Psychology 日本衛生学会 Asian Association of Social Psychology 日本災害復興学会 日本社会心理学会	The 14th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology. New Orleans, USA. (Hirashima, T., Tsuchiya, K., Motoyoshi, T., & Yoshida, T.) 第83回日本衛生学会学術総会, 226. 金沢市(吉田佳督・吉田康子・元吉忠寛・齋藤充生・早瀬隆司) The 10th Biennial Conference of Asian Association of Social Psychology. 100. Yogyakarta, Indonesia. (Ismail, N. & Motoyosi, T.) 日本災害復興学会2013大阪大会講演論文集, 96-97. 関西大学(田夏美・五十嵐絵梨・立石洋平・塚本慎也・塚本侑治・長田英里奈・永墓宏明・長光亮平・眞鍋友希・山中麻衣・堀越卓仁・金子信也・越山健治・元吉忠寛・永松伸吾) 日本社会心理学会第54回大会発表論文集, 146. 沖縄国際大学(竹橋洋毅・元吉忠寛・片山正昭・河口信夫)



研 究 業 績

家庭と地域の防災行動モデルの検証	単独	2013年11月3日	日本社会心理学会	日本社会心理学会第54回大会発表論文集, 144. 沖縄国際大学
(招待講演) リスクと向き合う心理学	単独	2013年2月12日	環境省	放射線による健康不安の軽減等に資する人材育成のための研修(群馬県) ビエント高崎
防災心理学の視点から実践を考える	単独	2013年6月1日	東海心理学会	東海心理学会第62回公開シンポジウム「防災・減災教育と心理学」 静岡大学
潜在的な被災者として事前に「したい」ことを考える—住民の防災意図の影響要因の検討から—	単独	2013年6月5日	関西大学社会安全学部	2013年度第3回関西大学社会安全学セミナー 関西大学
住民の防災意図の影響要因の検討—予防焦点から促進焦点へ—	単独	2013年9月20日	日本心理学会	日本心理学会第77回公募シンポジウム「複合災害(自然災害と事故)における人間心理を検討する: 東京電力福島第一原発事故をうけて」札幌コンベンションセンター
批判的思考の使い方	単独	2013年11月22日	九州大学大学院農学研究院	2013実問題解決の科学 VI 九州大学大学院農学研究院オープンプロブレムスタディープログラム
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成24年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	分担	2013年度	290 (290)	被災地での放射線影響に関してなされたリスクコミュニケーションの評価に関する研究
科学技術振興機構・戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)研究開発領域「コミュニティがつなぐ安全・安心な都市・地域の創造」	分担	2013~16年度	1,615 (7,810)	大規模災害リスク地域における消防団・民生委員・自主防災リーダー等も守る「コミュニティ防災」の創造
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本心理学会, 日本教育心理学会, 日本社会心理学会(理事), 日本グループ・ダイナミックス学会(理事), 日本リスク研究学会, 東海心理学会, 地域安全学会, Asian Association of Social Psychology, Society for Risk Analysis, Society for Personality and Social Psychology, Internal Association of Applied Psychology, American Psychological Association				
(社会貢献活動) 三重県, 防災会議専門委員 兵庫県, 学校防災アドバイザー Kan-Dai 1セミナー 「災害時のコミュニケーション」 2013年7月13日 開智高等学校(和歌山県)				
(その他業績として記載を希望する事項) 大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター共同研究員				

■ 金子 信也

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 事故防止のための社会安全学	分担執筆	2013年2月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部、第5章「労働災害と事故防止」、pp.79-95
(学術論文) Kan-Dai 1 セミナーの効果「あなたの性格を振り返ってみませんか?」の場合 「被災地に学ぶプロジェクト」活動報告	単著 共著	2013年3月 2013年3月	関西大学社会安全学部 関西大学社会安全学部	社会安全学研究、第3号、pp.129-137、査読無 社会安全学研究、第3号、pp.139-146、菅 磨志保・亀井 克之・金子 信也・城下 英行・河野 和宏・永松 伸吾・林 能成・越山 健治・元吉 忠寛、査読無
(その他、論考・研究資料等)				
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 被災者による被災者支援活動に関する調査—宮城県多賀城市を事例として— トラックドライバーの精神健康調査	共同 単独	2013年10月12日 2013年10月24日	日本災害復興学会 日本公衆衛生学会	日本災害復興学会 大阪大会(関西大学ミューズキャンパス[大阪府高槻市]) 第72回日本公衆衛生学会総会(アスト津[三重県津市])
(招待講演) 地震災害時のメンタルヘルスケア	単独	2013年3月8日	大学等環境安全協議会	「巨大地震に備える大学の安全管理」大学等環境安全協議会 実務者連絡会労働安全衛生部門企画 第5回実務者連絡会技術研修会【豊橋技術科学大学[愛知県豊橋市]】
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 公益財団法人 JR西日本あんしん社会財団活動助成	分担	2013年4月1日 ～ 2014年3月31日	(2,000,000円)	被災者雇用による被災者支援活動に関する研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本衛生学会 日本産業衛生学会 日本公衆衛生学会 日本リスクマネジメント学会(評議員・AMAROK Japan 主任研究員) 日本ソーシャルマネジメント学会(事務局長代理)				
(社会貢献活動) 未来(あす)のトラック研究会 高槻市自殺対策連絡協議会委員 Kan-Dai 1 セミナー「あなたの性格を振り返ってみませんか?」2013年6月29日 京都私立福知山成美高等学校(京都府)				
(その他業績として記載を希望する事項) 関西大学オープンキャンパス サマーキャンパス「あなたの性格を振り返ってみませんか?」2013年8月3日(関西大学千里山キャンパス)				

研 究 業 績

■ 河 野 和 宏

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 事故防止のための安全学—被害軽減をめざす分析と実践に繋ぐ提言	分担執筆	2013年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編著。私は、「第8章 情報漏洩の事例から考えるセキュリティ対策」を担当した。
勇気をもって 災害を知り、いのちを守る	分担執筆	2013年9月	NNN, 読売新聞社, 関西大学社会安全学部	NNN, 読売新聞社, 関西大学社会安全学部制作・著作。私は、「第8章 竜巻」を担当した。
(学術論文)				
(その他、論考・研究資料等)				
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 分散情報のサイズを考慮したQRコードにおける秘密分散法	共同	2013年9月	電子情報通信学会	電子情報通信学会技術研究報告, マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会(東海大学), EMM2013-57, P25-30, 倉元雅樹, 河野和宏, 伊藤義道, 馬場口登
(招待講演)				
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下、フリー記入				
(所属学会) 電子情報通信学会 (IEICE) 情報処理学会 (IPSJ) 日本信頼性学会 (REAJ) 公益事業学会 (JSPU) Association for Computing Machinery (ACM) The Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE)				
(社会貢献活動)				
(その他)				

■ 城下英行

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 事故防止のための社会安全学	分担執筆	2013年2月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編。私は、「英国の事故防止教育に学ぶ」(pp.286-301)を担当した。
復興は人づくりから	分担執筆	2013年10月	いわて高等教育コンソーシアム	いわて高等教育コンソーシアム編。私は、「防災教育」(pp.143-155)を担当した。
災害・危機と人間	分担執筆	2013年12月	新曜社	日本発達心理学会編。私は、「防災教育」(pp.201-208)を担当した。
(学術論文) 英国の安全教育—複層的な学びの提供—	単著	2013年1月	土木学会	土木学会論文集F6、第68巻2号、pp.146-152、2013年(査読有り)。
(その他、論考・研究資料等) 「被災地に学ぶプロジェクト」活動報告	共著	2013年3月	関西大学社会安全学部	菅 磨志保・亀井 克之・金子 信也・城下英行・河野 和宏・永松 伸吾・林 能成・越山 健治・元吉 忠寛著。社会安全学研究、第3号、pp.139-146、2013年。
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表(自発表のみ)) From Disaster Education to Disaster Co-learning: A Case Study from a Coastal Small Town in Japan	単独	2013年9月6日	International Society for Integrated Disaster Risk Management	Dealing with Disasters Conference/ 4th Conference of the International Society for Integrated Disaster Risk Management, UK
地域防災活動を総合化する防災マップ開発とその実践	共同	2013年10月26日	日本災害情報学会	日本災害情報学会第15回学会大会、群馬県桐生市
The History of Disaster Management in Japan	単独	2013年11月8日	University of Oslo	Cultures of Disasters, Norway
(招待講演(講演会等)) 泉大津の学校防災教育の推進		2013年1月21日		泉大津市教員研修、泉大津市役所
これからの防災教育—防災教育から防災共育へ—		2013年1月27日		高槻市防災講演会、関西大学ミュージズホール
これからの防災教育—防災教育から防災共育へ—		2013年2月22日		福知山市学校防災指導者研修会、福知山市役所
防災共育：みんなで泉大津の防災力を高めよう		2013年6月23日		泉大津市防災訓練講演会、泉大津市立上條小学校
A New Perspective on Disaster Education: From Education to Co-learning		2013年9月23日		Study School, The Civil Safety and Security Unit, University of Leicester
防災の心—防災教育から防災共育へ—		2013年10月31日		親子で学ぶ小牧中学校、小牧市立小牧中学校
防災教育から防災共育へ		2013年11月20日		大阪府立高等学校養護教育研究会、関西大学高槻ミュージズキャンパス
「分かり合う」ための防災教育—防災教育から防災共育へ—		2013年12月6日		「生きる力」市民運動化プロジェクトシンポジウム in 関西、関西大学ミュージズホール
学校における防災教育—防災教育から防災共育へ—		2013年12月20日		平成25年度乙訓学校安全研究協議会、長岡京市立図書館
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成25年度の研究経費(期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 京都大学防災研究所一般共同研究	代表	2013年度～2014年度	1600千円(3200千円)	新しい津波避難支援ツールの開発と実装—全国最悪の想定に挑む—
文部科学省科学研究費補助金・若手研究(B)	代表	2012年度～2014年度	600千円(2100千円)	「防災共育」実現のための理論構築と地域社会での実践

研 究 業 績

文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (B) 関西大学若手研究者育成経費	分担  代表	2012年度 ～2015年度  2013年度	200千円 (1800千円 (予定))  874千円	大規模環境汚染事故による地域の崩壊と 復興:チェルノブイル、アイカ、フクシマ 発展途上国における持続的な防災体制構 築のための実践的研究—ネパール国を事 例に一
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本自然災害学会 日本安全教育学会 日本災害情報学会 地域安全学会 日本地震工学会 大学教育学会				
(社会貢献活動) 大阪府 防災教育推進委員会 委員長 大阪府 『学校における防災教育の手引き』改定委員会 委員長 兵庫県 学校防災アドバイザー (兵庫県立尼崎西高等学校、西宮市立津門小学校担当) 泉大津市 防災アドバイザー 大阪府立吹田東高等学校 学校協議会 委員				
(その他)				